# 盲网遗跡

一県営経営体育成基盤整備事業(富島地区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一

2015 新潟県長岡市教育委員会

### 例 言

- 1. 本書は、新潟県長岡市富島町地内に所在する盲田遺跡の発掘調査報告書である。
- 2. 調査は、県営経営体育成基盤整備事業(富島地区)に伴うものであり、平成 17・18 年度に長岡市教育委員会が確認調査を行い、本発掘調査は平成 25 年度に、長岡市が新潟県長岡地域振興局から委託を受けて実施した。
- 3. 確認調査に要した費用は文化財保護部局である長岡市教育委員会が負担し、国庫及び県費の補助交付金を受けた。本発掘調査に要した費用は、原因者である新潟県長岡地域振興局が費用の95%を負担した。また、長岡市が費用の5%を負担し、国庫及び県費の補助交付金を受けた。
- 4. 遺物の注記は、「MKD」の後、出土位置、取り上げ番号等を記した。
- 5. 本書の執筆・編集はすべて調査担当が行った。「第V章 自然科学分析」については、パリノ・サーヴェイ株式会社が行った自然科学分析の報告書を調査担当が抜粋・編集した。
- 6. 調査・整理体制は以下のとおりである。

平成25年度 本発掘調査

調 査 主 体 長岡市教育委員会(教育長 加藤孝博)

事 務 局 長岡市教育委員会科学博物館(館長 山屋茂人)

調 查 担 当 長岡市教育委員会科学博物館 主査 鳥居美栄

現場代理人 須佐享二(株式会社吉田建設)

平成 26 年度 整理作業

調 查 主 体 長岡市教育委員会(教育長 加藤孝博)

事 務 局 長岡市教育委員会科学博物館(館長 小熊博史)

整 理 担 当 長岡市教育委員会科学博物館 主査 鳥居美栄

調査補助員 桜井美由貴(株式会社吉田建設)

- 7. 発掘調査で出土した遺物及び、測量図面・写真等の記録類は、長岡市教育委員会で保管している。
- 8. 発掘調査から報告書の刊行に至るまで、下記の方々より多大なるご教示・ご協力を賜った。ここに記して厚く御礼申し上げる。(五十音順・敬称略)

竹部佑介 松井智

富島地区圃場整備協議会 富島町町内会

## 図版凡例

1. 遺物実測図(図版7~11)におけるスクリーントーンは以下のものを示す。

墨書(文字・記号) 墨痕(転用硯など) 漆痕 スプ

2. 遺物写真(図版 16~19)の縮尺は、遺物実測図の縮尺と対応する。

## 目 次

第I章	調査に至る経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 	•	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
第Ⅱ章	遺跡周辺の環境・・・・・・・・	 	•	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
第Ⅲ章	調査の方法と経過・・・・・・・	 	•	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
第IV章	調査の成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 	•	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
第V章	自然科学分析・・・・・・・・・	 	•	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	9
第VI章	まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 	•	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	14
参考文献															
挿図目	欠														
第1図	遺跡の位置	1													
第2図	周辺の遺跡	2													
第3図	調査対象地・グリッド設定図・基本層序	4													
第4図	各地点の模式柱状図及び試料採取位置	9													
第5図	主要珪藻化石群集	12													
第6図	主要花粉化石群集	13													
第7図	珪藻化石写真	15													
第8図	花粉化石写真	15													

11

13

17

表目次

第1表 珪藻分析結果

第2表 花粉分析結果

第3表 遺物観察表

#### 図版目次

- 図版1 遺構分割図(1)
- 図版2 遺構分割図(2)
- 図版3 遺構分割図(3)
- 図版4 遺構個別図(1)
- 図版5 遺構個別図(2)
- 図版6 遺構個別図(3)
- 図版7 遺物実測図(1)
- 図版8 遺物実測図(2)
- 図版9 遺物実測図(3)
- 図版 10 遺物実測図 (4)
- 図版 11 遺物実測図 (5)
- 図版 12 調査写真(1)
- L/W 1= W1 3 / (1 -
- 図版 13 調査写真(2)
- 図版 14 調査写真(3)
- 図版 15 調査写真(4)
- 図版 16 遺物写真(1)
- 図版17 遺物写真(2)
- 図版 18 遺物写真 (3)
- 図版 19 遺物写真(4)

## 第1章 調査に至る経緯

平成16年4月、長岡市農林部(以下「市農林部」という。)から長岡市教育委員会(以下「市教委」という。)に、富島町におけるほ場整備事業計画地内の埋蔵文化財の有無についての問合せがあった。計画地は「八丁沖」と呼ばれる低湿地だった地域にあたり、計画地内に周知の遺跡は所在していなかった。しかし、市内においても沖積地における遺跡の確認例が増えつつあり、分布調査を実施した。その結果、盲田遺跡を含む7遺跡を新たに発見した。市教委は、ほ場整備事業の主体者である新潟県長岡地域振興局農林振興部(以下「事業者」という。)及び市農林部に調査結果を伝えた。協議の結果、平成17年の稲刈り後に7遺跡の確認調査を実施することで合意した。

平成 17 年 10 月の確認調査により、盲田遺跡では土坑、柱穴などの遺構や 9 世紀の須恵器、土師器が出土した (市教委 2006)。平成 17 年度の調査では遺跡の北端を決めることができなかったため、翌年度に追加の確認調査を行った (市教委 2007)。

事業者は、調査結果を受けて埋蔵文化財に影響を与える範囲を減らすように設計内容の調整を行った。その設計内容を基に市教委と事業者は協議を行い、盲田遺跡については、用水路及び排水路部分を本発掘調査対象地とすることで合意した。ほ場整備事業は平成20年4月に正式採択された。事業に伴い4遺跡(浅田遺跡、五百刈遺跡、抜間遺跡、盲田遺跡)の発掘調査が必要であり、各遺跡の発掘調査実施年度については、ほ場整備の進捗と随時調整することとなった。平成24年冬、盲田遺跡周辺での着工が平成25年度中となる見込みとなり、発掘調査を平成25年度に、翌年度に整理作業及び報告書の刊行を行うこととなった。

市教委は、平成 25 年 10 月 29 日付け長教博第 280 号で県教育委員会教育長に対し文化財保護法第 99 条第1項の規定による発掘調査の着手を報告し、本発掘調査を開始した。



第1図 遺跡の位置 (1/50,000)

## 第Ⅱ章 遺跡周辺の環境

#### 1 遺跡の位置

盲田遺跡は、新潟県長岡市富島町に所在する(第2図1)。

長岡市域のほぼ中央を信濃川が南から北へと流れ、その両岸には沖積平野が広がる。右岸沖積地の東側に東山丘陵が南北に延びる。東山丘陵から信濃川へ沖積地を横切るように太田川、栖吉川などの中小河川が流れ、山裾から沖積地にかけて谷口扇状地を形成している。沖積地は中小河川などからの氾濫水や雪解け水などが湛水しやすく、かつては広大な湿地や潟が存在していた。遺跡が所在する富島町は、かつて「八丁沖(八町潟)」と呼ばれた低湿地の南端に位置し、現在の富島集落は自然堤防上に位置する。盲田遺跡は富島集落の北方向約600m、福島町集落の南東の水田中に所在しており、周辺の標高は16m前後である。

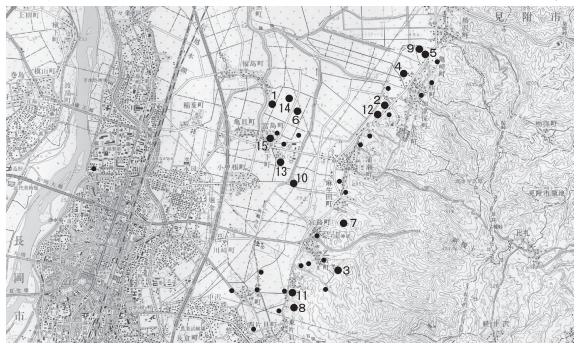
#### 2 周辺の遺跡

信濃川右岸においては、東山丘陵沿いの段丘上や台地上、扇状地などに遺跡が多く分布する。近年は沖 積地における遺跡の確認例も増えてきているが、丘陵沿いに比べるとその分布は希薄である。

縄文時代には茨崎遺跡 (第2図2)や堂ヶ峯遺跡 (3)など、丘陵裾や段丘上、扇状地に遺跡が分布する。 弥生時代では後期の遺跡が確認されており、環濠集落である横山遺跡 (4)、墳丘墓が確認された藤ヶ森遺跡 (5)などが丘陵裾に、五百刈遺跡 (6)が沖積地に所在する。古墳時代になると、丘陵上に麻生田古墳群 (7)、七ツ塚古墳群 (8)が造営され、沖積地内に五斗田遺跡 (9)、長表遺跡 (10)などの集落が営まれるが、それらの集落が古墳造営に関わる集団のものかは明らかではない。

古代には丘陵裾や低位段丘上、沖積地内に集落が営まれる。間野窯跡(11)などの8世紀代の須恵器窯跡が東山丘陵沿いに複数所在するが、奈良時代の集落遺跡は少ない。平安時代になると、大原C遺跡(12)など丘陵裾の集落や、火焚面遺跡(13)、五百刈遺跡、抜間遺跡(14)など沖積地内の集落が所在する。

富島館跡(15)は、堀や土塁を持つ戦国時代の館跡と推測されるが、宅地化により詳細は不明である。



第2図 周辺の遺跡 (1/75,000)

## 第Ⅲ章 調査の方法と経過

#### 1 調査区の設定

確認調査の結果を基に、排水路が敷設される箇所の幅 2.9m、延長 320mを調査対象地とした。

グリッドの設定は、世界測地系の座標軸を基準とする。基準線に沿って  $10m \times 10m$ の大グリッドを設定し、さらに、1 つの大グリッドを $2m \times 2m$ の 25 区画に分割した小グリッドを設定した。大グリッド名はX軸では南から算用数字  $1 \sim 29$ 、Y軸では西からアルファベットA $\sim$ Xを用いて両者の組み合わせで「5 G」のように表した。小グリッドは $1 \sim 25$  の算用数字で表し、各大グリッドの南西角を1、北東隅を25 として「5 G25」のように大グリッド名の後ろに付して呼称する。遺物の取上げ位置、遺構の位置を表す場合、このグリッドを使用する。なお、大グリッドの主な杭の座標軸は以下のとおりである。

0 A 1 (X = 164000, 000 Y = 34300, 000) 11 K 1 (X = 164110, 000 Y = 34400, 000)

#### 2 調査の経過

遺跡の深度が浅いため、調査用の重機が往来することによる遺跡への影響を防ぐための仮設道路を調査地に隣接して設けることとした。平成25年10月22日、盛土用の山砂、敷鉄板の搬入、仮設道路整備を開始し、順次、調査機材などの搬入を行った。31日に調査区の北東端から重機により表土剝ぎを開始し、11月11日に表土掘削が終了した。グリッド杭の打設を11月5日から行った。

6日から作業員が入り、排水用開渠の掘削など調査環境の整備を行い、7日、調査区北東端から包含層掘削を開始した。調査区の北東部分では遺物の出土がほとんどなく、また、開渠やサブトレンチなどからしまりのない土が深くまで続くことがうかがえ、遺跡が広がる可能性は低いと見られた。19日からは包含層掘削と平行して遺構検出の作業を行った。遺構発掘は12月1日から開始した。25日にラジコンヘリによる空中写真撮影を実施し、1月16日に自然科学分析のための土壌採取を行った。22日に遺構掘削を終了し、翌23日に測量を終了して現地における調査を完了した。

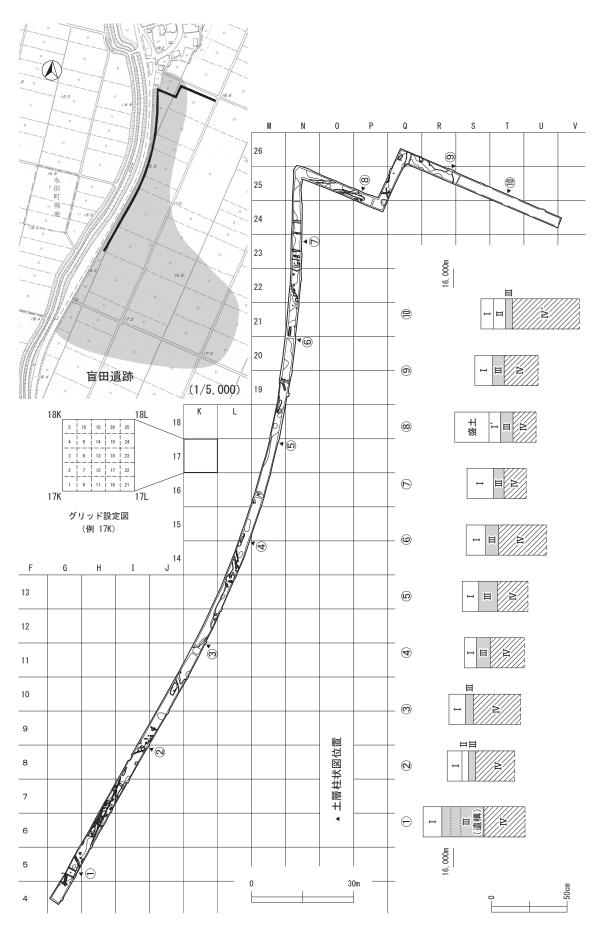
#### 3 基本層序

調査地の現状は水田であり、標高は 16m前後である。素掘りの用水路が調査地を縦断または横断する箇所がある。基本層序は I ~IV層に区分できる。 I 層 : 暗褐色粘土 (水田耕作土)、II 層 : 青灰色~暗灰色粘土、III層:暗灰色~灰褐色シルト~粘土 (平安時代の遺物包含層)、IV層: 灰褐色または青灰色シルト~粘土 (地山) である。調査地の北東部にあたる 24V~ 25T付近はIII層とした層の直下から黄褐色~青灰色シルト~粘土や暗灰色~暗褐色粘土が堆積するが土にしまりがない。

#### 4 工事立会

平成 26 年 5 月、用水路及び排水路の敷設位置が一部変更されることとなった。新たな掘削幅が 1 m未満であることから、工事立会とすることとなった。

平成 26 年 6 月 17・18 日に工事立会を行った。掘削範囲は本発掘調査地の東側または南側の隣接地の延長約 100mであり、大グリッドでは 18Nから 25Qまでに収まる。掘削により出土した遺物を回収するとともに、 本発掘調査において出土した井戸 (SE01)、溝状遺構 (SD09) の調査区外にあたる部分を確認し、また、土坑と見られる落込み 3 基を確認して工事立会を終了した。



第3図 調査対象地・グリッド設定図・基本層序

## 第Ⅳ章 調査の成果

#### 1 遺構

今回の調査では、井戸(SE) 3 基、土坑(SK) 32 基 (平成 26 年度の工事立会確認分を加えると 35 基)、溝状遺構(SD) 32 基、ピット(P) 45 基、その他の遺構(SX) 20 基を確認した。柱穴が複数並んだ状態で検出された箇所もあるが、掘立柱建物跡の復元には至らなかった。主な遺構について述べる。

#### (1) 井戸

- SE01 24 P 25・25 P 21 に所在する。平面は円形で、調査時は長径(南北)1.80m、短径(東西)1.40m であったが、翌年度の工事において調査区の東側が拡張され、工事立会の結果、東西方向の径が 2.10mであることを確認した。深さは 0.84m、断面は台形状を呈する。須恵器、土師器、木製品、銭貨(神功開宝・隆平永宝)を出土した。銭貨は上層の炭化物を非常に多く含む層から、木製品は下層から出土した。
- **SE02** 8 I 13・18 に所在する。平面は円形で東側部分が調査区外に続く。長径 1.0m、短径 0.65m、深さ 0.56mを測る。断面は箱形である。須恵器、土師器、木製品を出土した。覆土の多くは腐植物を多量に含む黒色・黒褐色土(シルト、シルト質粘質土)である。
- **SE03** 5 H 3・4 に所在する。平面は円形で東側部分が調査区外に続く。断面は漏斗状を呈する。長径 1.43m、短径 0.64m、深さは 0.98m である。須恵器、土師器、木製品を出土する。

#### (2) 土坑

- **SK11** 22 N 10 に所在する。平面は円形で、長径 0.54m、短径 0.52m、深さ 0.24mを測る。断面は台形である。須恵器を出土している。
- **SK13** 22N16に所在する。平面は円形で、西側部分が排水用開渠により切られる。確認された規模は、 長径 1.04m、短径 0.76m、深さ 0.23m。須恵器を出土している。
- **SK17** 18M19・20・24・25 に所在。平面はやや不整形な円形で、長径 1.38m、短径 1.27m、深さ 0.41mを測る。断面は半円形を呈する。須恵器、土師器、木製品を出土している。S K16 に切られる。
- SK32 6 H13・14 に所在する。平面は長径 1.06m、短径 0.60mの楕円形を呈する。深さは 0.24m、断面はV字状である。須恵器、土師器を出土する。

#### (3) 溝状遺構

(4)ピット

- **SD02** 25 P 23・24・25 Q 3・4 に所在し、西側部分が調査区外に続く。断面はU字状を呈する。確認した規模は、長さ 2.28 m、幅 0.48 m、深さ 0.43 m である。土師器を出土した。
- **SD14** 19M23・24 に所在する。西側部分が調査区外に続く。断面は弧状である。確認した規模は、長さ3.79m、幅1.64m、深さ0.25m。土師器、漆塗り木製品を出土した。
- **SD17** 14L15・20 に所在。西側部分が調査区外に続く。確認した規模は長さ 1.74m、幅 0.74m、深 さ 0.19mで、断面は弧状である。SD16 に切られる。須恵器、土師器、被熱した礫を出土している。
- **SD22** 7 I 4・5・9・10に所在する。東側部分が調査区外に続く。断面は台形状。確認した規模は長さ1.80m、幅0.74m、深さ0.23mを測る。SD23に切られる。須恵器、土師器、木製品を出土。
- SD23 7 I 3・4・9・10 に所在する。東側部分が調査区外に続く。確認した規模は、長さ 5.44m、幅 0.68m、深さ 0.11m。須恵器、土師器、木製品を出土した。SD22 を切り、P 32 に切られる。
  - P13 21N7に所在する。平面は長径0.24m、短径0.18mの円形である。断面は台形で、深さ0.09mを

測る。用途不明の漆塗り木製品を出土した。

- **P23** 13 L 10・15・14 L 6・11 に所在する。平面は長径 0.88m、短径 0.82mの円形で、断面は漏斗状を呈する。深さ 0.41m。柱根を残す。土師器を出土した。
- **P32** 7 I 3 に所在する。長径 0.38m、短径 0.30mの円形の平面である。断面は漏斗状。深さは 0.30mを測る。須恵器を出土した。SD23 を切る。
- P35 7 H17 に所在する。SX15 内にあり、SX14 が近接する。長径 0.34m、短径 0.28mの円形の平面、深さは 0.30mを測り、断面はU字状である。ピットの径とほぼ同じ径の柱根を残す。

#### (5) その他の遺構

平面や断面が不整形を呈する遺構が多く確認されている。遺物を含まないものや、近世以降の陶磁器片を出土する遺構(SX07、SX08など)もある。

- **SX05** 14L12・14・17・18に所在する。平面は不整形で、西側部分が調査区外に続く。確認した規模は、長さ3.54m、幅1.46m、深さ0.36mである。須恵器、土師器を出土した。
- **SX14** 7 H17に所在する。平面は不整形で、西側部分が調査区外に続く。確認した規模は、長さ1.53m、幅 0.74m、深さ0.30mである。須恵器、土師器を出土した。SX15の広がりの中に所在する。
- **SX15** 7 H16・17・21・22 に所在する。平面は不整形、西側部分が調査区外に続く確認した規模は、長さ 2.5 m、幅 1.66 m、深さ 0.19、m。断面は弧状を呈する。遺構の広がりの中に SX14、P35 が所在する。 須恵器、土師器を出土する。

#### 2 遺物

平安時代の須恵器、土師器のほか、柱根、その他木製品、石製品、鍛冶関連遺物、帯金具、銭貨が出土 した。このほかに、近世以降の陶磁器片がごく少量出土している。

#### (1) 須恵器・土師器

須恵器がコンテナ (内寸 543×343×104mm) 詰めで 6 箱、土師器は 7 箱出土した。遺物は小片のものが多く、 復元、図化に至らないものが多い。須恵器には墨書・漆書があるものや、墨痕のあるもの、漆が付着した ものがある。土師器では内面黒色処理を施したものがごく少量含まれる。

- **SE01** 須恵器の無台坏  $(1\cdot 2)$ 、甕  $(3\sim 5)$ 、土師器の長甕  $(6\sim 9)$ 、小甕 (10) が出土した。 1 は口縁が大きく開く。 2 は口縁部にススが付着する。  $1\cdot 2$  は小泊産。  $3\sim 5$  は胴部片で、3 は外面が平行タタキ、内面が同心円当て具と平行当て具を用い、  $4\cdot 5$  は外面に平行タタキ、内面に同心円当て具痕が残る。 6 は口縁端部が上方につまみ上げられ、受け口状となっている。 7 は非ロクロ成形で、内面外面ともハケ調整される。  $8\cdot 9$  は胴部片である。 10 は小甕の底部。 平底であり、回転糸切り未調整である。
- **SE02** 11 は須恵器の無台坏で、坏部下半にめぐるように墨痕がある。12 は土師器の無台椀で、内面外面ともにヘラミガキが施される。 $13 \sim 15$  は土師器の長甕である。 $13 \cdot 14$  は「く」の字状に外反する口縁部であり、端部はつまみ上げられる。15 は胴部片で、当て具の同心円の溝が摩耗または円形当て具と見られる。16 は土師器の小甕である。胴部はやや球形で、底部は平底、回転糸切り未調整である。
  - **SE03** 須恵器では無台坏(17)、土師器では長甕(18・19)を出土した。いずれも小片である。
- **SK17** 須恵器では無台坏 (20・21)、壺 (22)、坏 (23)、土師器では小甕の底部 (24) を出土する。21 は口縁部をわずかに内側に屈曲させる。坏身外面に墨書がある。22 は壺の肩部であるが、焼き歪みが大きい。23 は残存部で深さが 5.8 cmと深めの身を持つ。21・23 は小泊産である。

- **SK11** 須恵器の坏蓋 (25) は小片であるが口縁部が下方にしっかりと折れる。小泊産と見られる。無 台坏 (26・27) には墨書があり、26 の文字は判読できないが、27 は「石」である。
- **SK30** 28 は土師器椀である。29・30 は土師器長甕であり、29 は口縁端部が内側に屈曲する。30 は体部片であるが、タタキ目はなくロクロ目のみ確認できる。
- **SD22** 須恵器長頸瓶(31)、土師器の長甕(32·33·35)、小甕(34)が出土した。31は口縁端部をつまみ上げる。 32は頚部でタタキ目はない。33は胴部破片である。35は底部近くの資料で丸底となる。
- **SD23** 須恵器の無台坏(36)、有台椀(37)、土師器の長甕(38)、小甕(39)が出土した。37 の高台の断面は台形で、外端接地である。38 の外面は平行タタキ目が残るが、内面は当て具痕は見られない。
- SK13 40 は須恵器の坏蓋で、つまみは扁平で中がくぼむ。41・42 は須恵器の無台坏であり、42 の底部外面に墨書があるが、判読はできない。
- **SK01** 須恵器の甕(43)、横瓶(44)の胴部片が出土した。いずれも外面は平行タタキ目、内面は同心 円当て具痕を残す。44 は小泊産である。
- **SD17** 須恵器の坏蓋(45)、無台坏(46)、長頸瓶(47)、甕(48)、土師器の無台椀(49~53)が出土した。 45 は口縁端部が内側に屈曲し、内外面に墨痕がある。47 は口縁端部をつまみ上げる。48 は甕口縁部で大 形である。49・50 は体部がやや直線的に開き、51~53 は体部が丸みを帯びて立ち上がる。
  - SK32 十師器無台椀(54)の底部が出土した。
  - SDO2 55 は土師器の長甕口縁部で、端部をつまみ上げており、受け口状になると見られる。
  - SD08 56 は土師器の鍋で、口縁部が「く」の字状に外反し、断面が三角形を呈する。
  - **SD14** 口縁が直線的に開く椀(57)、長甕の胴部片(58・59)が出土している。59は薄手である。
- **SD26** 土師器の鍋 (60)、小甕 (61)、長甕 (62) が出土。60 は体部外面にカキ目、下部にヘラケズリを施す。61 は口縁部が「く」の字状に外反し、端部をつまみ上げる。
  - **P23** 土師器の椀(63)、長甕(64)が出土している。64は体部片で外面にカキ目を施す。
- **P18** 須恵器の無台坏 (65)、甕 (66)、土師器の無台坏 (67) が出土した。65 は口縁部にススが付着する。66 は頸部破片である。67 は体部が丸みを帯びて立ち上がる。
- - SX01 土師器の小甕(81)が出土した。口縁部の屈曲から端部までが短い。
  - SX17 82 は土師器の甕で、口縁端部が上方につまみ上げられ、口縁内面にススが付着する。
  - SX15 須恵器の無台坏(83)が出土した。体部が大きく開く。
  - SX07 84 は土師器の無台椀で、内外面ともにヘラミガキを施す。85 は土師器の小甕である。
- **SX16** 土師器の椀 (86)、長甕の体部片 (87~89) が出土した。86 は丸みを帯びた体部である。87・88 は外面平行タタキ目、内面平行当て具痕、89 は外面平行タタキ目、内面同心円当て具痕を残す。
- 遺構外出土 須恵器では坏蓋  $(90\cdot 91)$ 、有台坏  $(92\sim 95)$ 、無台坏  $(96\sim 104)$ 、壺  $(105\cdot 112\cdot 113)$ 、小壺 (106)、長頸瓶(107)、甕 $(108\sim 111)$ 、横瓶(114)が出土している。90 は扁平な宝珠形のつまみを持ち、口縁部が下方にしっかりと折れる。91 のつまみは扁平な円形で中がくぼんでおり、中央がやや突起する。 $90\cdot 91$  ともに内面

が硯として利用されている。92の坏部は緩く内湾して立ち上がり、上部で外反し、口縁端部をつまみ上げる。 坏外面の下部に墨痕がある。93 は直線的に立ち上がる深身の坏部を持ち、高台の断面は台形である。94 は深身の坏部を持ち、底部外面に「王」の漆書がある。95 は底部片であるが、底部外面に「×」のへラ書きがある。無台坏は、96 は坏部があまり開かないが、97~ 104 は坏部が開く。100~ 103 には墨書または漆書がある。100 は底部外面に「王」の墨書、101 は底部内面に漆書があるが、判読できない。102 は底部外面に「王」の漆書と墨痕がある。103 の底部外面の墨書は判読できない。104 は内面を転用硯として用いる。105 は壺の口縁部片であり、外面に1条の沈線がめぐり、口縁端部はつままれて外方に伸びる。106 は小形の壺であり肩部に1条の沈線がめぐるが、成形時に偶然ついたものである可能性がある。107 は口縁部片で口縁端部を上方と外側につまむ。108 は甕の頸部片で外面に平行タタキ目、内面に同心円当て具痕が残る。112 は体部片、113 は底部である。107~114 は小泊産と見られる。土師器は無台坏(115・116)、鍋(117)、甕(118)が出土した。119 は内面黒色処理の土師器の椀の底部片である。ヘラミガキは行われない。(2)木製品

柱根のほかに箸状木製品や用途不明な木製品が出土しており、漆塗りと見られるものもある。

120・121 は柱根である。120 はP14 出土。上部は腐損している。底面はほぼ平らであるが緩やかな山形に傾斜が付けられている。分割材を用いる。123 はP35 出土。底面に急な角度をつけてあり、さらに一部を突起状にする。分割材を用いる。

122 は SE01 から出土した笏状木製品である。下部は折損しており、残存長 22.2 cm、厚さ 0.6 cm、幅は最大 3.8 cm、最小 3.2 cmで下方に向かい幅が狭くなる。上端の両角を斜めに落とし、笏形に仕上げる。

123・124 は箸状木製品である。いずれも SE02 からの出土である。

125・126 は用途不明の木製品である。125 は長さ 11.5 cm、幅 2.8 cmの柾目の板を用いており、長軸のほぼ中心線上に 2 箇所、やや外れた位置に 1 箇所、円形の穴が開けられる。また、長辺の一辺の中心付近に抉りを施す。126 は、先端が緩やかに尖っており、槍先のような形をしているが、全体の断面は三又状を呈し、三又のそれぞれの先は溝状の加工がある。先端に近い箇所の同じ高さの 3 面全てに円形の穴が穿孔される。折損しており、全体の形状・大きさなど不明である。表面に黒漆が塗られていると見られる。

このほかに、蓋と見られる全面黒漆塗りの木製品が1点、SD14 から出土している。直径 21.0 cm、口縁端部が溝状に加工されている。全体の厚みが非常に薄く脆弱であるため、図化できなかった。

#### (3) 石製品

127 は 機形に近い台形を呈する砥石である。表面に漆が付着するが、文字・記号としての判読はできない。 石材は凝灰岩である。128 は被熱した礫である。 礫面側縁の剝離は被熱によると見られる。

#### (4) 鍛冶関連遺物

鞴の羽口 (129) は 5 G 23 出土で、残存で直径 6.4 cm、長さ 7.5 cmを測るが、小片に砕けていた。先端に溶融物が付着する。130 は 5 G 24 から出土したもので、高さ 4.0 cm、幅 4.5 cm、厚さ 1.1 cmの不整形の金属塊であり、鉄滓であろう。同じような不整形の金属塊が 4 G 14、4 G 15 から出土している。

#### (5)金属製品

帯金具の丸鞆(131)が4G14において出土した。一部に黒漆と見られる付着物が残る。

神功開宝 (132)・隆平永宝 (133) が各 1 点、SE01 から出土した。いずれも円形で、中央に正方形の穴が開く。 文字は時計回りに配され、裏は無紋である。

## 第 V章 自然科学分析

遺跡における古環境(堆積環境、古植生)の検討を目的として、遺構の埋積物や調査区壁面に認められる 堆積物を対象として、珪藻分析・花粉分析を実施した。分析はパリノ・サーヴェイ株式会社に依頼した。

#### 1 試料

試料は、調査区壁面に確認された基本土層 (25R25 北壁、5G22 東壁) と、井戸跡 (SE01、SE03) の計4地 点より採取した土壌である。各地点の模式柱状図および試料採取位置を図1に示す。

#### (1) A地点(25R25 北壁:第3図土層柱状図⑨)

本地点は、調査区最北に位置する。本地点の堆積層の層厚は、地表面より約 65cm を測る。観察対象とした堆積層の最下部は水没のため確認には至らなかった。観察地点の側方(東側)には、耕作土下部の青灰色シルト〜粘土の下位より浅く掘り込まれる遺構が確認される。この遺構覆土は、炭化物が混じる暗褐灰色〜暗褐色シルトからなる。

試料は、上記した遺構覆土等より土壌 3 点(試料番号1~3)、耕作土より下位の炭化物が混じる(青)灰色シルト~粘土(試料番号4)と、同堆積物の中~下部(試料番号5~7)、さらに砂泥互層の最上部(試料番号8)の土壌5点の、計8点を採取している。

#### (2) B地点(SE01)

本地点は、調査区北側、A地点の南西に位置する井戸跡埋積物に相当する。埋積物は、泥 (シルト~粘土) を基質とし、色調や混入物の状況により複数の層位に分層される。埋積物の層厚は約83cmを測る。

試料は、井戸跡の機能時~廃絶、および埋没の過程を考慮し、埋積物の上部(試料番号4)、中部(試料番号5)、最下部(試料番号3)より3点、さらに有機質あるいは炭化物が多量混じる等の特徴が認められた堆積物(試料番号2・1)より、土壌5点を採取している。なお、試料番号1は、黒~黒灰色シルト相当と考えられる、古代の銭が出土した地点より採取した試料である。

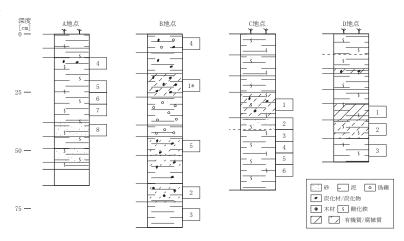
#### (3) C 地点 (5 G22 東壁:第3 図土層柱状図①)

本地点は、調査区南半に位置する。本地点に認められた堆積層の深度は約 67cm を測る。堆積層は、大きく現在の耕作土、遺構覆土 (調査区内掘削時はIII層と認識。平面での遺構確認なし。)、自然堆積物とに分けられる。自然堆積層に相当する堆積層下部は、灰色シルトからなり、上部はやや砂混じりとなる。

試料は、遺構覆土下部(試料番号1)と、直下の灰色砂混じりシルトおよびその下部より層厚5cm連続で採取した土壌5点(試料番号2~6)の、計6点を採取している。

#### (4) D地点 (SE03)

本地点は、調査区南半に位置 し、表土(耕作土)直下より掘り 込まれる遺構の埋積物が確認さ れる。本地点の堆積層の層厚は



第4図 各地点の模式柱状図および試料採取位置

約 55cm を測る。なお、土壌採取時においては土坑として認識しており、その後発掘未了であることが判明し、さらに発掘したことにより井戸として認識したものである。

試料は、遺構埋積物の中~下部に相当する暗灰色シルトとそれより以深の堆積物より土壌3点(試料番号1~3)を採取している。

今回の分析調査では、以上の(1)~(4)に示した試料より 10 点を選択し、下記の分析に供した。分析対象として選択した試料の内訳は、A地点が試料番号  $4 \cdot 5 \cdot 8$ 、B地点が試料番号  $5 \cdot 2 \cdot 3$ 、C地点が試料番号  $2 \cdot 4$ 、D地点が試料番号  $1 \cdot 3$  である。

#### 2 分析方法

#### (1)珪藻分析

試料を湿重で5g前後秤量し、過酸化水素水、塩酸処理、自然沈降法(4時間放置)の順に物理・化学処理を施して、珪藻化石を濃集する。検鏡に適する濃度まで希釈した後、カバーガラス上に滴下し乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入して、永久プレパラートを作製する。検鏡は、光学顕微鏡で油浸600倍あるいは1000倍で行い、メカニカルステージでカバーガラスの任意の測線に沿って走査し、珪藻殻が半分以上残存するものを対象に200個体以上同定・計数する(化石の少ない試料はこの限りではないが、全面を走査する)。種の同定は、[原口ほか,1998]、[Krammer,1992]、[Krammer & Lange-Bertalot,1986;1988;1991a;1991b]、[渡辺ほか,2005]、[小林ほか,2006]等を参照し、分類基準は[Round et al.,1990]に、壊れた珪藻殻の計数基準は[柳沢,2000]に従う。

#### (2) 花粉分析

試料約 10gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液(臭化亜鉛、比重 2.3) による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス(無水酢酸 9:濃硫酸 1 の混合液) 処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400 倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、パリノ・サーヴェイ株式会社保有の現生標本や[島倉,1973]、[中村,1980a] 等を参考にする。

#### 3 結果

#### (1) 珪藻分析

結果を表1、図2に示す。珪藻化石の産出頻度は、A地点の3試料(試料番号4・5・8)とC地点の試料番号4が少なかったが、それ以外の6試料からは、堆積環境を検討する上では有意な数量の珪藻化石が産出する。珪藻化石の保存状態は、A地点では全体的に悪いが、その他の試料では全体的に良好である。産出分類群数は、合計で44属117分類群である。

#### 1) A地点

試料番号4・5・8のいずれも珪藻化石が非常に少なく、海水生種の破片、陸生珪藻、それに淡水生種の破片が少量産出する程度である。

#### 2) B 地点

試料番号2・5は、ともに陸上のコケや土壌表面など多少の湿り気を保持した好気的環境に耐性のある 陸生珪藻が多産することで特徴づけられる。試料番号3は、試料番号2・5とほぼ同様な産状を示すが、

第1表 珪藻分析結果(1)

Section   Sect					2000						 		l		١.
Observing   According   Accodd		推分	Н	长泥											
Out-first at all 11-15 K. U. C.	Bacillariophyta (建碳酯物門)														ĺ
Otherina [a, a, a	Centric Diatoms(中心型扭激類) Aulacoseira ambigua(Grun.)Simonsen	Ogh-ind	al-il		N, U	-			1					-	-
Other   Control   Contro	Aulacoseira crassipunciaia krammer Aulacoseira granulaia (Ehr.)Simonsen	Ogh-ind	al-il		M, U							- I		1 63	1 1
Otherined all 11   1795 K. U. C.	Aulacoseira italica (Ehr.)Simonsen Coscipodiscus em	Ogn-1md Euh		ud_T	_	1 67					- 1	1 1	1 1	1 1	1 1
Other   Inch	Melosira varians Agardh	Ogh-ind	al-il	th' i	, U,	1	ı		ı	ı		ı	ı	ı	-
Other   Othe	Cyclotella spp. Discostella stelligera (Cleve et Grunow)Houk & Klee	Ogh-ind	ind	F II	Þέ		-	- I							- 1
Other ind   11   17   17   17   17   17   17   1	Araphid Pennate Diatons(無策階羽秋珪巌姫) Aranhidineae(無総階劃														
Other   Control   Contro	Fragilaria vaucheriae (Kuetz.) Petersen	Ogh-ind		the T	F, T	1	1	1	1 -	1	1	-	1	-	1
Control of all 11   170   Control of all 1	dannaea arcus var. recta. (cleve) M. ldel. Meridion constrictum. Ralfs	Ogh-ind	al-il	17	2 12	1			- 1						-
Other   Control   Contro	Staurosira construens var. binodis (Ehren.) Hamilton	Ogh-ind	al-il	12	D =		ı	ı				- 0			
Other and all all limits in the control of the cont	staurostra venter (Ehren.) H. Kobayası Staurostrella pinnata (Ehr.) Williams & Round	Ogh-ind	al-il	14		1	1 1					<b>9</b> I			1
Continue	Staurosirella lapponica (Grun. )Williams & Round	Ogh-ind Och-imk	al-il	f i								1 -			1 1
Other bank with the bank with	grammatophora spp.	Enh					- 1	- 1	ı	1	,	. 1	,	1	1
Other make make make make make make make make	Phalassionema nitzschioides (Grun.) Grunow	Enh		- 1		2	-	-	-	-		2	8	d	-;
Other bank   all   1   1   1   1   1   1   1   1   1	kaphid Pennate Diatoms(有底部沿沙社击骤器) Sanhidinase(右波語器)														
Section   State   Line   State   Sta	honoraphid Pennate Diatoms (単統構羽状建藻類)														
Embed   1   1   1   1   1   1   1   1   1	Ichnanthidium spp.	Ogn-unk		m k	F	١ -		- 1					10		1
Control of all   17-70   Control of all   17	Tocconeis aff. arctica Cleve	Enh				٠ ۱	1	1	1	1	1		1	1	1
Other   Part	Cocconeis scutellum Ehrenberg	Euh-Meh			5.	1	ı	ı	ı	ı	1	ı	ı	ı	-
Optimized all	Cocconeis lineata Ehrenberg	Ogh-ind Ogh-ind		lind but			1 1								- 1
Otherined at all lind B (b) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	Straphid Pennate Diatoms (双桅牌羽吠建寨類)			ŀ											į
Objective   Activity	unphora copulata (Kuetz.)Schoeman et R.E.M.Archibald	Ogh-ind	al-il	pui		1	-	í	1 9	1 8	- :	3	1	1 0	1 4
Observation classes   Control of the classes	Imphora montana Arasske Tym <i>hella tumida (</i> Byah )Yan Hamsek	Ogh-ind		ind					7 1	- 1				4 1	PI
Observation   Control	Symbella turgidula var. nipponica Skvortzow	Ogh-ind		r-ph	Н	1	1	1	ı	-	. 1	1	ı	ı	1
### Application of the control of th	Symbella spp.	Ogh-unk	ind	w Tu	E	-	-				1 -	1 -		1 -	-
### Optiminal all in Trible (A. U. C.	Sneyonema silesiacum (Bleisch) D. G. Mann	īΓ	imk	ımk	-	-					- I	- I		۰ ۱	1 1
### With the first of the first	sneyonema spp. Placoneis elginensis (Greg. )E. I. Cox	Ogh-ind	al-i1	ind	0, 0	4 1	1	1	1	4	1	1	1	-	-
Control   Cont	Placoneis elginensis var. neglecta (Krasske) H. Kobayasi	Ogh-ind		r-ph	D E	1	ı	1	ı	-	1	23	ı	-	1
Objective   Description   De	Jomphonema christensenii Lowe et Kociolek	Ogh-1nd	DE -	E I	-=	-								ı	1 -
Qui-tind in a limit   Paph   Qui	somphonets neterominuta Mayama & Kawashima Tomphonets rhombica (Fricke)Marino et al	Ogh-ind	ind	17				-		-					۰ ۱
Objection   Act   The   Color	Jomphonema angustatum (Kuetz.)Rabenhorst	1	ind			1	1		ı	_	1	1	1	ı	1
Observed	Jomphonema gracile Ehrenberg	Π.	al-il		0,0		i		ı	ı	ı	ı	í	ı	0
Otherind ind ind ind is a control of the control of	Jomphonema lagenula Kuetzing	Ogh-ind		li di	o =				1 1	1 6	1 2 2	1 6		1 6	22 %
With the content of	Somptionema partunum August, Augusting Somptionema pseudoaugur Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	S	1	ı	1	1		1	1	ı	ı	2
With the control of	Reimeria sinuata (W. Greg.) Kociolek et Stoermer	Ogh-ind	ind	rph.	т,	1	ı	ı	ı	ı	ı	_	ı	ı	1
Writed litin of Withouse   Otherine   Intelliging   RBs   The control   Otherine   Intelliging	Rhoicosphenia abbreviata (C. Agardh) Lange-B.	Ugh-hil	al-11	II.	ν. Ι										- 1
Wetzellin et Withcreek   Other-hold   Ind   Ind   Other-hold   Ind   Ind   Other-hold   Ind   Ind   Ind   Other-hold   Ind	uetz.	Ogh-ind		ind	RB, T	1	- 1		1			-	1		1
Werzellin et Withowski   Otherhold   Oth	Diploneis parma Cleve	0gh-ind		ind		1	ı	ı	ı	_	ı	ı	ı	-	1
Chickel al.	Hippodomia capitata (Ehr. )Lange-B., Metzeltin et Witkowski	Ogh-Meh	9 1	Hd I			1 1	1 1						1 1	1
Comparison of the comparison	vavicula gregaria Bonkin Vavicula veneta Knetzina		al-il	ind				,	28	00	1.5	٠,	,	1	-
	Vavicula kotschyi Grunow	Ogh-ind	al-il	ind		1	1	1	1	1	1	1	ı	-	1
Othering all-11 in the control of	Vavicula lanceolata (Agardh) Ehrenberg	Ogh-ind		pui	. I							es 1			1
Othering all 11   Triple   University   Othering all 11   Triple   University   Othering all 11   Triple   University	Vavicuta tapiaosa Aras ske	Och-ind	al-il	hund	- X					٠,		-		-	
Other-ind all 11   Page   K U	vavicula rossenaia nuetzing Vavicula trivialis lange-Rentalot	1.7	al-il	ind					1	1			,	- 1	1
We will be a control of the contro	Vavicula viridula (Kuetz.) Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	r-ph	к, п	1	1	1	ı	1	1	2	ı	1	1
w (000-1000 Hall 1900 Hall	Vavicula spp.	7	mk	mk.		1 -	ı	ı	63	ı	_	1 -	ı	ı	1
We control   C	anceps Ehr	7 7	ind	pu i	_	- 1						- 1			-
Control of the cont	anceps var.	1	ind	ind	RI					۰ ۱	۰ ۱			-	-
Other   Othe	Stauroneis Javenburgiana Hustedt	1	al-il	ind		1	ı	1	1	1	1	ı	ı	٠,	-
Section   Control of the control o	Stauroneis obtusa Lagerstedt	T	ind	pui	83	1	ı	ı	3	_	2	-	ı	-	-
ske (thriving hill) and (t	Stauroneis phoenicenteron (Nitz.) Ehrenberg	7.	ind	fi.		1	ı	ı	ı	ı	ı		ı	ı	-
All	Staurone is undata Hustedt	Πī	9 1	ind	_						1 12	- I			-
Otherine [a-11] and [b, 1]         1.0.           Otherine [a-12] and [a-12]	erustuna vuigaris (Ifwait, )be ioni Genetulia vuidamin van ganitata Eraseba	1	. 1	ind						- 1	0 1	· e			۰ ۱
Other ind fair II and IRA.T         —         —         III         II         —         II         II         —         II         II         II         —         II	Frustulia weinholdii Bustedt	1	al-il	ind		1	1	1	1	1	1	1	1	1	-
Other and all 11 find RN.T	Diadesmis biceps Arnott ex Grunow in Van Heurck	1	al-il	ind	RA, T	1	ı	1	ı	_	_	_	ı	-	8
Output   Automate	Diadesmis contenta (Grun. ex Van Heurck) D. G. Mann	1	al-il	pui.	RA, T	1	L	ı	į.	-		-	,	8	LC :
Object   Incident	unicola munica (Ruetz.) D.G. Mann	i i	indi	2 7	PT		<b>→</b> 1		4 1	D	D	20 1		77	= '
000-ind	uncola ventricosa (Auetz.) D. G. Mann Veidium alnimum Hustadt	7.7		ind	RA'.	1	1		1	-	t-	LC)	1		-
Observed   Applied   December	Veidium ampliatum (Ehr. ) Kramer	T	ac-il	l-ph		1	1	1	ı				1	-	1
999-104 [104] [104	Veidium bisulcatum (Lagerst.)Cleve	T	ac-il	ind	RI	1	ı	1	ı	_	_	ı	ı	-	ı
	Veidium dubium (Ehr. )Cleve	Ogh-ind		pu!			ı	ı	-		1 0			ı	1
(Me-rind in it if it is	Veidium longiceps (W. Greg. )R. Ross	Ogn-hob	26	p Pu							27 -	1 2		10	-
000-ind ind ind RN	aloneis aeropnia bock	1	al-	raph			1			- 1		9 1		4 1	۱ ا
Oph-ind find ind ind Oph-ind ind ind Oph-ind ind ind Oph-ind ind ind Oph-ind al-i  I ind Oph-ind al-i  I ind Oph-ind Oph-ind ind Oph-ind Oph-ind ind Oph-ind Oph-ind ind Oph-ind Oph-ind ind Oph-ind Oph-ind ind Oph-ind Oph-ind ind Oph-ind ind Oph-ind ind Oph-ind ind Oph-ind ind Oph-ind ind Oph-ind Oph-ind ind Oph-ind ind Oph-ind ind Oph-ind i	Caloneis hvaling Hustedt	1	ind	ind	RA	1	1	1	1	1	. 1	-	1	ı	1
Ogh-ind ind 1-ph RB 1 - 8	Caloneis lauta Carter & Bailev-Watts	T	ind	ind			ì		ì	_	ì		ì	ì	1
Ogh-ind al-inl lind	Caloneis leptosoma Krammer & Lange-Bertalot	L	ind	-bh	RB		ı	,	ı	_	,	1	ı	00	2
	Caloneis silicula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	pui		ı	ı	ı	ı	ı	ı	c			

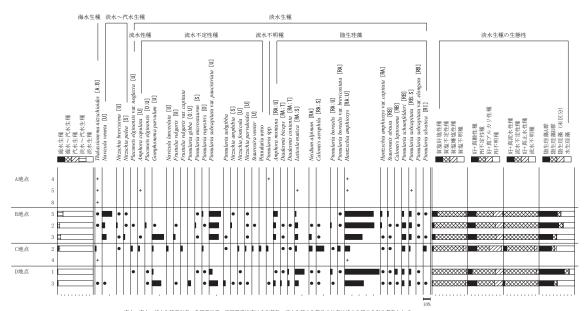
第1表 珪藻分析結果(2)

			l	ĺ										I
	#1	生態性		排版		A地点		ш	BB		C橋点	146	D地点	
	塩分	Hd	长泥	指標機	4	2		22	2	8	2	4	_	23
Pinnularia anglica Kramer	Ogh-hob	ac-il	p 7						1 0		1 -			1 -
Fimularia borealis Ehrenberg Pimularia borealis var brevicostata Histodt	Ogh-ind	pui	n p	S AS	1			-	o			1 1	o	- I
Pinnularia borealis var. linearis M.Per.	Ogh-ind	ind	pur	SA.	1	1	1	1	1	-	1	1	1	-
Pinnularia brebissonii (Kuetz.)Rabenhorst	Ogh-ind	ind	p :	_	1	1	1	1	ı	ı	2	ı	ı	ı
Pinnularia brevicostata Cleve	Ogh-1nd	ac-11	p 7	-	1	1	1	1	ı	ı	1	1	1	- 0
Pinnularia gibba Ehrenberg	Oghrind	ac-11	2 7	-				1 0	1 0					50
Pinnularia microstauron (Ehr. )Cleve	Ogh-hob	ac-11	9 1					7	0	٠.			-	
Finnutaria noaosa Enrenberg	Own-hob	av ii	- 7	_					-	- 1			-	-
Pinnularia rupestris Hantzsch	Onl-ind	ind	3 3					0 4	1 61	1 9	7 11		- 1	- 1
Finnuaria schoenjelaeri krammer	Orh-ind	pui	2			1	-	D I	9 1	77	0 1		- 1	- 1
Fundaria sentegera (mst.) mammer Dimularia silvatica Datarean	Ogh-ind	ind	P		1	1	٠ ا	6	1	-	LC	1	1	6
Pinnularia subcapitata Gregory	Ogh-ind	ac-il	pu	RB, S	1	-	1	ı t-	00	- 1	2	1	9	10
Pinnularia subcapitata var. elongata Krammer	0gh-hob	ac-il	pui	SB.	1	- 1	1	-	-	-	1	1	2	-
Pinnularia subcapitata var. paucistriata (Grun.) Cleve	Ogh-ind	ac-il	pu		1	1	1	33	88	27	1	1	6	25
Pinnularia subgibba Kramer	0gh-hob	ac-il	pu		1	1	ı	i	ı	2	-	ı	ı	9
Pinnularia subrupestris Krammer	0gh-hob	ac-il	pu .		1	1	1	1	ı	ı	1	ı	-	ı
Pinnularia substomatophora Hustedt	0gh-hob	ac-il	f.		1	1	1	1	ı	ı	-	ı	ı	ı
Pinnularia ueno Skvortzow	Ogh-hob	ac-il	É.		1	1	1	1	1	1	es	1	1	1 -
Pinnularia viridiformis Kramer	Ogn-1nd	Ind	Ē		1 0						1 0			- 0
Pinnularia spp.	Ogh-in-	WILE.	1	,	20	1			1		n -			N
Sellaphora pupula (Kuetz, )Mereschkowsky	ORILING	DIII	2	1	1	1	1	4	4	1	-	4	4	ij
To meta 34 Hantechia amphiovye (Flyr.) Comen	Ogh-ind	ind	pu	SA, U	~	-	1	83	822	929	00	-	8	re.
Hantzschia amphioxys var. capitata 0. Miller	Ogh-ind	al-il	pul	ZA.	1	1	1	LC)	4	-	-	1	2	-
Nitzschia brevissima Grunow		al-il	pu		1	1	1	-	3	2	-	1	1	1
Nitzschia palea (Kuetz.) W. Smith		pui	pu	· ·	1	1	ı	-	-	4	ı	ı	ı	İ
Nitzschia amphibia Grunow		al-il	pu :		1	1	1	-	ಣ	ı	1	ı	ı	-
Nitzschia fonticola Grunow		al-il	p :		1	1	1	1			7	ı	_	5
	Ogn-1nd	ind	2	- 1				-	2	2	2			2 -
Nitzschia perminuta (Grun.) Peragallo	Oghrind	ar-ir	2 7	- 1					1 0					-
Milleschia mehomata (The.) Instead	Ogh-ind	ind	7	-				6	a 1	6				
Niteschia em	Ogh-unk	unk	nk N		1	-	1	-	1	1	1	1	1	1
Tryblianella calida (Grimow) D. G. Mann	Meh				1	-	1	< 1	1	1	1	1	-	1
Tryblionella levidensis W. Smith	Meh				1	1	1	1	ı	ì	1	1	-	1
Tryblionella debilis Arnot t	Ogh-ind	al-il	pu	RB, U	1	1	1	1	ı	ı	1	1	1	-
Epithemia sorex Kuetzing		al-il	F.		1	1	1	1	ı	ı	1	ı	_	ı
Epithemia turgida (Ehr. )Kuetzing		al-il	Ē.		1	-	1	1	ı	ı	1	ı	1	ı
Rhopalodia gibberula (Ehr. ) 0. Muller	ogn-Men	a1-11	DG	1	4	d	4	d	d	d	-	4	d	ij
N. T. N. C. T. C. T. C.	Orb-ind	pui	7								-			
Surivella angusta Kuetzing	Ogh-ind Orh-ind	ind	9 4	_		( )					- 1			1 1
Surfrend Mitting Diebleschi	Ogh-tunk	ın k	, a						1	٠,	-			1
の 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一				Ì	-	-	-	-	-		1	-	-	į
Eunotia bilunaris (Ehr. )Mills	0gh-hob	ac-bi	ind		1	1	1	1	ı	ı	ı	ı	1	2
Eunotia minor (Kuetz.) Grunow		pui		T,	1	1	1	ı	ı	ı	1	ı	-	ı
Eunotia praerupta Ehrenberg	0gh-hob	ac-il	l-ph	RB, 0, T	1	1	1	1	1	-	1	1	1	1
衛水生衛					ro c	67 6	01 0	- <	- <	0 0	en e	en e	0 0	<u></u> -
南 子 一 二 子 任 連					> <	> -	> <	> <	> 0	> <	> <	> <	> 0	- <
3. 次拍攝 以表十一所表子集					> <	- 0	> <	2 8	2 0	2 00	> 4	> <	9 0	> -
文分 / ごかけ値					2	=	9	173	193	182	102	~	300	204
吹水 工					15	: 7	00	203	206	203	100	9	202	207

凡例 [適応性]

消水:消水に対する適応性	1-bi : 真止水性種	1-ph : 好止水性種	ind : 流水不定性種	r-ph : 好流水性種	r-bi : 真流水性種	unk : 流水不明種		
塩分:塩分濃度に対する適応性 pH:水素イオン濃度に対する適応性	al-bi : 真アルカリ性種	al-i1 : 好アルカリ性種	ind : pH不定性種	ac-i1 : 好酸性種	ac-bi : 真酸性種	unk : pH不明種		
塩分:塩分濃度に対する適応性	Euh : 海水生種	Euh-Meh : 海水生種-汽水生種	Meh : 汽水生種	Ogh-Meh : 淡水生種-汽水生種	0gh-hil : 貧塩好塩性種	Ogh-ind : 貧塩不定性種	Ogh-hob : 領塩業塩件	Ogh-unk : 貧塩不明種

(環境指標值) A.外洋精機值。E.内壳指標值。CL:指水蒸揚指標值。C2:汽水蒸場指標值。DI:海水砂質干息指標值。D2:汽水砂 質干包指標值。EI:海水泥質干點指標值。E2:汽水泥質干點指標值。E2:淡水低生種群以上。小水 1989》G:淡水 洋遊生種群。H:同口浮遊性複群。T1-正治性同川指標值。K:中~下流性可川指標值。L.最下流性可川指標循能 B:湖河海海地框面。N:超河和沿邊地指標值。O.沿沢邊地付着生值。P:海區腦房指標循性。Q.B.或指標面性。Q.L. 安藤、1990)、S:好下部性框。U.E.然在性值。CB沢邊地付着生值。P.海區腦房指標循律。Q.B.或指標循值。Q.L. 群、RB:B群、RI:米区分,伊藤、堀内、1991)



海水一汽水一淡水生種産出率・各種産出率・完形設産出率は全体基数、淡水生種の生態性の比率は淡水生種の台計を基数として 百分率で算出した。いずれも100個体以上検出された試料について示す。●は2%未満、+は100個体未満の試料について検出した種類を示す。

[環境指標值] A:分字拍插標。B:內海指標框。C1:海洋藻湯指標種。C2:汽水藻湯指標種。D1:海水砂質干锅指標種。D2:汽水砂質干锅指標種。E1:海水泥質干锅指標種。 B:淡水泥生種質(以上は小水,1988)。G:淡次河遊生種葉。B:河口浮遊生種葉。F:紅水泥性別用指標種。E1:中一下流途期用指標框。L:東下流性別用指標種 B:波波河海洋性。波波河深別學出時機會。C2:河學與時分学生會,产流層度和指揮性。D2:珍珠形質核[以上・安藤 1998]

#### 第5図 主要珪藻化石群集

流水不定性で付着性の Gomphonema parvulum が特徴的に多産する点で異なる。

#### 3) C地点

試料番号4は、海水生種、流水性種、陸生珪藻が、わずかに認められる程度である。 珪藻が産出する試料番号2は、陸生珪藻と水生珪藻とがほぼ同率で産出する。

#### 4) D地点

試料番号3は、陸生珪藻と水生珪藻とがほぼ同率で産出する。群集的には、B地点の試料番号3に近似している。試料番号1は、陸生珪藻が全体の約84.2%を占める。

#### (2) 花粉分析

結果を表2、図3に示す。A地点の試料番号8、C地点の試料番号4は花粉化石の産状が悪かったが、 それ以外の試料からは花粉化石が多く産出する。化石の保存状態は、全体的に悪い~非常に悪いものが多 く認められる。

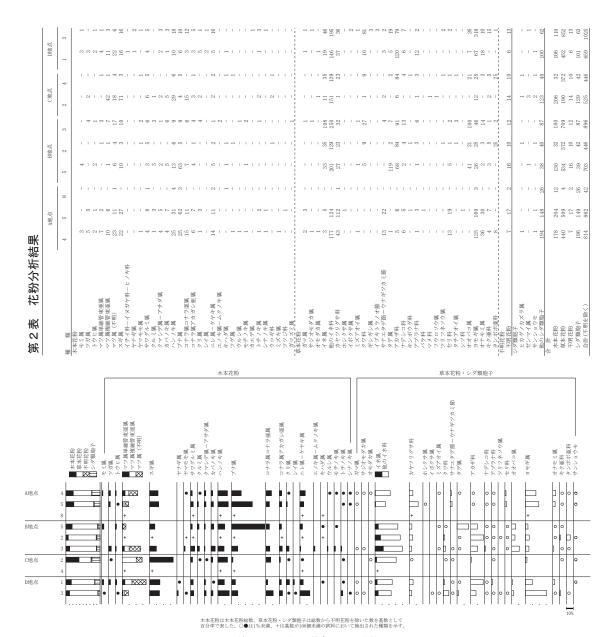
#### 1) A地点

試料番号8は検出される花粉化石が少なく、木本花粉ではマツ属、サワグルミ属、ハンノキ属など、草本花粉ではカヤツリグサ科、ヨモギ属が、数個体検出される程度である。

試料番号5・4は、花粉化石群集が類似し、草本花粉の割合が高い。多産したイネ科には、栽培種であるイネ属も確認された。ただし、花粉表面が溶解しているものが多く、明らかイネ属と同定できる個体は少ない。イネ科全体に占めるイネ属の割合は、試料番号5が約3.9%、試料番号4は約1.7%である。粒径や形状からイネ属の可能性がある個体も確認されたが、保存状態が悪く表面構造が観察できなかったものは他のイネ科に含めている。

#### 2) B 地点

いずれの試料からも花粉化石が豊富に産出し、草本花粉が優占する。木本花粉の産出状況は試料により 異なり、試料番号3・5は、かろうじて定量解析ができる程度の産出に留まり、試料番号2ではそれに満 たない。試料番号3ではマツ属が最も多く産出し、試料番号5ではブナ属が最も多く産出する。



第6図 主要花粉化石群集

草本花粉はいずれもイネ科が多産し、試料番号5ではタデ属の多産が顕著である。また、水湿地生草本・シダ類も、僅かに認められる。なお、多産したイネ科には栽培種のイネ属が認められ、イネ科全体に占めるイネ属の割合は、試料番号5が約30.2%、試料番号3が約21.3%、試料番号2が約14.1%である。3) C地点

試料番号4は花粉化石の産状が悪く、わずかにマツ属、スギ属、ハンノキ属、ブナ属、ニレ属-ケヤキ属等の木本花粉、イネ科等の草本花粉が認められる程度である。

試料番号2は花粉が豊富に産出し、木本花粉と草本花粉がほぼ同程度の出現率を示す。木本花粉ではマツ属とスギ属が多く、草本花粉はイネ科が優占する。イネ科全体に占めるイネ属の割合は約6.8%である。4) D地点

試料番号3・1のいずれも花粉化石が豊富に産出するが、いずれも草本花粉が優占し、木本花粉はかろうじて定量解析が行える程度の産出である。

草本花粉は、試料番号3ではイネ科、ヨモギ属が多産し、カヤツリグサ科、クワ科等を伴う。試料番号

1 ではイネ科が多く産出し、カヤツリグサ科、クワ科等を伴う。なお、イネ科全体におけるイネ属の割合は、試料番号3が約19.1%、試料番号1が約11.5%である。本地点でも、上位層の方が割合がやや低い。

#### 4 考察

#### (1) 堆積環境

A地点では、珪藻化石そのものの産出に乏しく、堆積環境を珪藻化石の生態的特徴から検討することは 困難であった。ただし、少ないながらも産出する珪藻化石は、海水性種、淡水生種、陸生珪藻と多岐に渡っている。生育環境の異なる種類が混在することから、氾濫性の堆積物である可能性がある。同じく、C 地点の試料番号2も、陸生珪藻と水生珪藻とが混在し、海水生種等も認められるほか、顕著に多産する種 類が認められないことから、混合群集であるといえる。水生珪藻の中には、流水性種も低率ながら含まれ、 少なくとも試料番号2採取層準は河川の氾濫等により堆積したと考えられる。以上のことから、本遺跡の 基本土層(A地点、C地点)は、いずれも氾濫堆積物を主体として構成されている可能性が高い。

一方、井戸跡のB地点では、陸生珪藻が多産する。井戸の内壁や周囲の乾いた場所等からの陸生珪藻を 多く含む土壌が供給されたと考えられる。また、水生珪藻も比較的に多く産出したことから水の存在が示 唆される。主要種の生態的特徴から、水質的には富栄養化していた可能性がある。

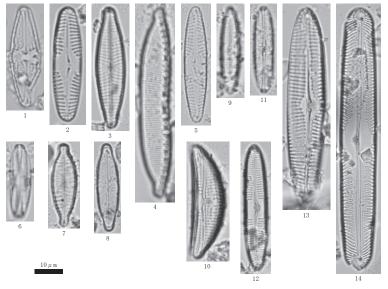
D地点の試料番号 3 は、群集が B 地点の試料番号 3 に近似する。周囲から陸生珪藻を多く含む土壌が流れ込む窪地のような場所で、富栄養な水の影響を受けながら堆積した可能性がある。試料番号 1 では、陸生珪藻の割合が高く、当初は水の影響があったが、埋積の過程で乾燥する状態が多くなったと考えられる。(2) 古植生

分析の対象とした基本土層や遺構埋積物からは、ほとんどの試料から花粉化石が検出されたものの、保存状態が悪く、花粉外膜が破損・溶解しているものが全体的に多く認められた。上記した珪藻分析結果から推定される環境を考慮すると、得られた花粉化石群集は経年変化による分解・消失の影響を受けており、分解に強い花粉等が選択的に多く残されている可能性がある。

いずれの地点においても、草本類が多産あるいは優占し、木本類の出現率が低い。木本類の組成は、試料により優占する種類は異なるものの、多産する種類は概ね類似する。ブナ属やコナラ亜属は、冷温帯性落葉広葉樹林の主要構成要素であり、後背の山地や丘陵等の森林に由来すると考えられる。ハンノキ属、ヤナギ属などは、渓谷沿いや河畔などの適湿地を好む種群であり、集水域の谷沿いや遺跡周辺の河畔等に認められた林分を反映していると考えられる。スギ属も河畔や低湿地等に生育した可能性がある。マツ属は、生育環境の適応範囲が広く、極端な陽樹であり、二次林等として周囲に分布した可能性がある。

一方、前述したように、今回の分析に供した試料はいすれも草本花粉の出現率が高率となる。いずれも、開けた明るい場所に群落を形成する種群であり、その他にも同様の生育環境を示すものが多い。周辺に分布した草地環境を反映していると考えられる。また、水湿地生草本、水生シダ類も検出された。これらは、周辺に分布した水湿地、あるいは遺構の埋積過程の凹地内に一時的に生育していた可能性がある。

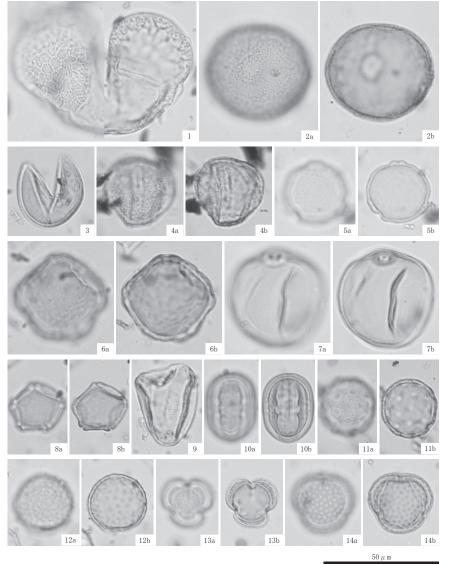
なお、今回の調査では、各地点より栽培種のイネ属が確認された。イネ属の割合は、 $A \cdot C$ 地点では2~7%と低率であるが、B地点試料が  $14 \sim 30\%$ 、D地点試料が  $12 \sim 19\%$ と $A \cdot C$ 地点のそれを上回り、遺構埋土でより高率となるという特徴が指摘できる。また、いずれの地点においても、今回の計数からは除外した粒径や形状ではイネ属の可能性がある個体が認められており、それらを加えるとイネ属の割合はより高率になると思われる。



第7図 珪藻化石写真

- 1. Luticola mutica (Kuetz.)D.G.Mann (A地点;5)
- 2. Pinnularia subcapitata var. paucistriata (Grun.)Cleve (B地点;2)

- (B地点; 2)
  3. Navicula veneta Kuetzing (B地点; 2)
  4. Hantschia amphioxys (Ehr.)Grunow (B地点; 2)
  5. Pinnularia schoenfielderi Krammer (B地点; 2)
  6. Amphora montana Krasske (B地点; 2)
  7. Gomphonema parvulum (Kuetz, Kuetzing (B地点; 2)
  8. Stauroneis obtusa Lagerstedt (B地点; 5)
  9. Caloneis aerophila Bock (B地点; 5)
  10. Amphora copulata (Kuetz, Schoeman et R.E.M. Archibald (C地点; 2)
  1. Neidium albinum Hustelt (D地点; 1)
- (C地点; 2) 11. Neidium alpinum Hustedt (D地点; 1) 12. Caloneis leptosoma Krammer & Lange-Bertalot (D地点; 1) 13. Pinnularia rupestris Hantzsch (D地点; 1) 14. Pinnularia gibba Ehrenberg (D地点; 3)



第8図 花粉化石写真

1. マツ属(B地点; 5)
2. ブナ属(D地点; 3)
3. スギ属(B地点; 5)
4. コナラ属コナラ亜属(D地点; 3)
6. ニレ属ーケヤキ属(D地点; 3)
7. イネ属(D地点; 3)
8. ハンノキ属(B地点; 5)
9. カヤツリグサ科(B地点; 5)
10. タデ属(B地点; 5)
11. アカザ科(B地点; 3)
12. オオバコ属(B地点; 3)
13. ヨモギ属(D地点; 3)
14. オナモミ属(D地点; 3)

## 第VI章 まとめ

今回の調査では、土坑、溝状遺構、ピット、柱根を残すピット、性格不明遺構などが出土した。柱穴列 を確認したが、掘立柱建物跡を復元するには至らなかった。竪穴住居跡なども確認されていない。

遺物では、9世紀後半から 10 世紀初頭と見られる須恵器、土師器が出土しており、墨書、漆書土器や 転用硯が複数確認されている。また、包含層から金属製の帯金具、井戸跡からは神功開宝・隆平永宝を出 土しており、いわゆる農村集落とは異なる様相を示すと言える。

盲田遺跡周辺は、かつて存在した「八丁沖」と呼ばれる低湿地の南西端に位置しており、対岸である北側には見附市上田遺跡が所在する。上田遺跡は9世紀後半の遺跡であり、多量の墨書・漆書土器、木簡、多量の大甕などを出土した。今回の調査により、9世紀後半ごろ、八丁沖を挟んだ北岸と南岸において、墨書・漆書土器を出土するような集落が存在したことが明らかとなった。

一方、出土した神功開宝、隆平永宝は、鋳造・発行年が天平神護元 (765) 年、延暦 15 (796) 年であり、金属製の帯金具やこれらの銭貨は伝世したものと考えられる。しかし、市内の信濃川右岸地域においては8世紀の須恵器窯跡が複数確認されているが集落などの様相は明らかではなく、帯金具や銭貨がもたらされた背景も不明である。盲田遺跡の時代である平安時代の様相とともに、今後に残された課題である。

#### 参考文献

長岡市 1992 『長岡市史』資料編1 考古

長岡市教育委員会 2002 『長岡市内遺跡発掘調査報告書一千代栄町地区一』

長岡市教育委員会 2006 『平成 17 年度長岡市内遺跡発掘調査報告書』

長岡市教育委員会 2007 『平成18年度長岡市内遺跡発掘調査報告書』

長岡市教育委員会 2010 『大原C遺跡』 見附市教育委員会 2005 『上田遺跡』

〈第V章 自然科学分析 引用文献〉

安藤一男 1990 「淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用」 『東北地理』42 73-88 頁 Asai, K. & Watanabe, T. 1995 Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution(2) Saprophilous and saproxenous taxa. Diatom. 10, 35-47.

原口和夫・三友清史・小林 弘 1998 『埼玉の藻類 珪藻類. 埼玉県植物誌』 埼玉県教育委員会 527-600 頁

伊藤良永・堀内誠示 1991 「陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用」『日本珪藻学誌』6 23-44 頁

小林 弘・出井雅彦・真山茂樹・南雲 保・長田啓五 2006 『小林弘珪藻図鑑』第1巻 ㈱内田老鶴圃

小杉正人 1988 「珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用」『第四紀研究』27 1-20 頁

Krammer, K. 1992 PINNULARIA.eine Monographie der europaischen Taxa. BIBLIOTHECA DIATOMOLOGICA BAND26. I.CRAMER

Krammer, K. & Lange-Bertalot, H. 1986 Bacillariophyceae. 1. Teil:Naviculaceae. Suesswasserflora von Mittel europa. Band2/1. Gustav Fischer Verlag

Krammer, K. & Lange-Bertalot, H. 1988 Bacillariophyceae. 2. Teil:Epithemiaceae, Bacillariaceae, Surirellaceae Suesswasser flora von Mittel europa. Band2/2. Gustav Fischer Verlag

Krammer, K. & Lange-Bertalot, H. 1991a Bacillariophyceae. 3. Teil:Centrales, Fragilariaceae, Eunotiaceae. Suesswasserflora von Mitteleuropa. Band2/3. Gustav Fischer Verlag

Krammer, K. & Lange-Bertalot, H. 1991b Bacillariophyceae. 4. Teil: Achnanthaceae, Kritsche Ergaenzungen zu Navicula (Lineolatae) und Gomphonema. Suesswasserflora von Mitteleuropa. Band2/4. Gustav Fischer Verlag

中村 純 1980a 「日本産花粉の標徴 I Ⅱ(図版)」『大阪市立自然史博物館収蔵資料目録』第12,13集

Round, F. E., Crawford, R. M. & Mann, D. G. 1990 The diatoms. Biology & morphology of the genera. Cambridge University Press, Cambridge.

島倉巳三郎 1973 「日本植物の花粉形態」『大阪市立自然科学博物館収蔵目録』第5集

渡辺仁治・浅井一視・大塚泰介・辻 彰洋・伯耆晶子 2005 『淡水珪藻生態図鑑』 内田老鶴圃

柳沢幸夫 2000 「Ⅱ-1-3-2-(5) 計数・同定」『化石の研究法-採集から最新の解析法まで-』 化石研究会 共立出版 株式会社 49-50頁

## 第3表 遺物観察表 (1) 須恵器・土師器

1 / /3	頁恵器・土	上師器	ŀ												*混入物凡例 石:石英 長:	長石 骨:海綿骨針 白:白色料	位子 黒:黒色粒子 赤:赤色粒子 砂:
版 遺物	出出	上位置		opmi.	20.00	注	s量(cm	1)	口線	医部	86.1	tetr ib	20.1 44	色調	調	整	244s - Hav.
No.	グリッド	遺構名	層位	種別	器種	口径	底径	器高	残存率 元	残存率 (●/36)	胎土	焼成	混入物	(外/内)	外	内	備考
1	24P25	SE01	覆土	須恵器	無台坏	12.8	7. 0	3. 1	10	10	やや精	良	黒·白	明オリープ灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切りか
2	24P25	SE01	覆土	須恵器	無台坏	12.0	7.7	3. 4	18	19	やや粗	良	黒·白	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 口:漆付着
3	25P21 · 22	SE01	覆土・Ⅲ	須恵器	36			(11, 6)			やや粗	不良	Á	灰/灰白	平行タタキ目	平行当て具・同心円当て具痕	
4	24P25	SE01	_	須恵器	美			(9, 1)		$\dashv$	やや精		黒·長		平行タタキ目	同心円当て具痕	
5	24P25	_	覆土							$\dashv$		良めのアロ		灰白/灰			
_		SE01	覆土	須恵器	獲			(8.3)	$\vdash$	-	やや精	やや不良	白	暗灰/灰	平行タタキ目	同心円当て具痕	
6	25P21	SE01	覆土	土師器	長甕	28. 8		(3. 1)	1		やや粗	やや良	赤・砂	にぶい橙/にぶい橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
7	24P25	SE01	覆土	土師器	長甕	(23.8)		(2.7)	3		やや粗	やや良	砂	にぶい橙/にぶい橙	口縁:ヘラケズリ、頸部:ハケメ	口縁:ハケメ、頸部:ハケメ・ナデ	
8	24P25	SE01	覆土	土師器	長甕			(4.8)			精	やや良	砂・赤(ごく少量)	黒/黒褐	平行タタキ目	当て具痕不明(同心円か)・ナデ	外: 炭化物付着 内: スス付着
9	24P25	SE01	覆土	土師器	長売			(5.7)			やや精	良	長・骨	にぶい黄橙/にぶい黄橙	平行タタキ目	同心円当て具痕	
10	0.4005	CEO1	100E .L.	1.400 80	.1. 186			(0.7)		20	es.		7%	にぶい黄橙/褐	n tond	n t n 1 =	外:墨痕あり
10	24P25	SE01	覆土	土師器	小甕		6. 0	(2.7)		36	精	良	砂	にかい真恒/他	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転糸切り
11	8I13·18	SE02	覆土8	須恵器	無台坏	12.6	8.0	3.0	11	21	精精	良	砂	黄灰/暗灰黄	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り
12	8113.18	SE02	覆土8	土師器	椀		5. 9	(3.6)		14	やや精	やや不良	砂・赤	橙/にぶい橙	ヘラミガキ	ヘラミガキ	
13	8113-18	SE02	覆土8・	土師器	長甕	22. 0		(3. 3)	5		やや精	やや良	砂・石	浅黄/灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	
_		-	III						ď	_							
14	8I13·18	SE02	覆土8	土師器	長甕	20. 2		(3.8)	3		精	やや良	砂	浅黄橙/灰黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	
15	8I13·18	SE02	覆土・8	土師器	長甕			(10.0)			精	良	砂	灰黄褐/にぶい橙	平行タタキ目	同心円当て具痕(溝摩耗か)	外:炭化物付着 内:スス付着
16	8113.18	SE02	覆土8	土師器	小甕		7.7	(8.0)		36	精	不良	砂	にぶい黄褐/にぶい黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転糸切り
17	5H4	SE03	覆土	須恵器	無台坏	11.2	7.4	3. 1	2	7	やや精	良	白·黒	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切りか
18	5H4	SE3	覆土	土師器	長甕	14. 9		(2, 6)	2		やや粗	良	砂・赤	にぶい褐/浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
19		SE03	覆土	土師器	長売			(6, 2)		$\dashv$	やや粗	やや不良	砂·赤	灰黄褐/灰黄褐	平行タタキ目	同心円当て具痕・カキ目	
_	_		_														
20	18M25	SK17	覆土9	須恵器	無台坏	11.6	7.0	3. 3	14	16	やや精	やや良	白	灰/青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り→ナデ
21	18M19·20	SK17	覆土 排土	須恵器	無台坏	14.3	9.0	3.8	4	18	精	良	黒·砂	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	外: 体部墨書 底: 回転ヘラ切り→ヘラナデ、指ナデ
22		ar:-		cus de mor	uler.			(0)	+	$\dashv$	n- n	ngat also	wk 2	. Lu . Am and			焼きゆがみ
	18M25	SK17	覆土	須恵器	壺			(2.9)	$\sqcup$		やや粗	不良	砂・白	オリーブ黒/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	外:降灰
23	18M25	SK17	覆土	須恵器	坏	13.0	L	(5.8)	5	_ 1	やや粗	良	長·灰·白	青灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	
24	18M20	SK17	覆土5	土師器	小甕		7.0	(1.7)		5	やや粗	やや良	砂	にぶい黄褐/にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転糸切り
25	+	SK11	覆土	須恵器	坏蓋	17. 2		(2, 0)	5	$\dashv$	やや粗	やや不良	黒·白	黄灰/灰白	ロクロナデか	ロクロナデ	外:砂、降灰
26		_	_				8, 2	H	$\vdash$	36			黒・白		ロクロナデ	ロクロナデ	
+-	+	SK11	覆土	須恵器	無台坏	12.5		3. 5	-	36	やや精	良		灰/灰			底:回転ヘラ切り 墨書
27	_	SK11	覆土	須恵器	無台坏	12.0	7.5	4.0		36	やや精	良	砂・白	灰白/灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 墨書
28	7H24	SK30	覆土	土師器	椀	16.6		(4.6)	4		やや粗	やや良	砂・石・赤・骨	橙/明黄褐	ロクロナデ	ロクロナデ	
29	7H24	SK30	覆土	土師器	長甕	33. 6	L	(3.5)	2	_ 1	やや粗	やや良	砂·赤砂·赤	にぶい黄橙/にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
30	7H24	SK30	覆土	土師器	長甕			(4.0)			やや粗	良	砂·赤·石	にぶい橙/にぶい橙	ロクロナデ	摩滅 ロクロナデか	
31	715	SD22	覆土	須恵器	長頸瓶	21.0		(6, 5)	6		やや粗	やや不良	長・白	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	
32		SD22	覆土	土師器	長甕			(5. 6)			やや粗	やや良	砂·骨	橙/浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
+	CHIO 14	SD22 •	18.1.					(0.0)		$\dashv$		74 / /					
33	6H13·14· 7I4·5·8·9	SD22 •	覆土	土師器	長甕			(10.0)			やや粗	良	砂・赤・石・長	浅黄橙/にぶい黄橙	平行タタキ目、カキ目	平行当て具痕、ハケ目	
34		SD22	覆土	十師器	小甕		6, 3	(2, 6)		9	精	やや良	白	にぶい橙/にぶい橙	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転糸切り
35	+	SD22	覆土	土師器	長甕			(15, 2)		$\dashv$	やや精	良	砂・赤	にぶい黄橙/にぶい黄橙	平行タタキ目、底:ハケ目	平行当て具痕、ハケ目	
-	+	_	_			40.0		-	40	40							ete Pilder - et Im is
		-	覆土・Ⅲ		無台坏	13.0	8.0	3. 2	-	13	やや精	良	白·黒·長	灰白/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り
37	7110	SD23	覆土	須恵器	有台椀		8. 2	(6. 5)		14	やや精	やや良	黒·白	青灰/緑灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り→ナデ
38	719	SD22	覆土	土師器	長甕			(5.5)			やや粗	やや良	赤・砂	にぶい橙/にぶい黄橙	平行タタキ目	ヨコナデ	外:炭化物付着
39	719	SD23	Ⅲ・小甕	土師器	小甕		5. 2	(2.8)		25	精	やや不良	骨	にぶい黄橙/浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転糸切り
40	22N6	SK13	覆土	須恵器	坏蓋			(2.5)			やや粗	やや不良	白·黒·長	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	
41	22N6	SK13	覆土	須恵器	無台坏	13. 0	7. 1	3. 8	14	36	やや精	やや不良	砂・白	灰白/灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り→ナデ
42	_	SK13	覆土	須恵器	無台坏		8. 0	(1.3)		7	やや精	良	白	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 墨書
_	+	-	_				0.0	_		-							底. 四松、7909 聖會
43	+	SK01	覆土	須恵器	號			(13.3)			精	やや不良	白·黒	灰/明オリーブ杯	平行タタキ	同心円当て具痕	
44	25R10	SK01	覆土	須恵器	横瓶			(10.1)			やや精	良	黒·白	灰白/灰	平行タタキ目平	同心円当て具痕	
45	14L20	SD17	覆土	須恵器	坏蓋坏	14. 4		(1.9)	13		粗	良	白・長・黒	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	内外:墨痕 転用硯
46	14L20	SD17	覆土	須恵器	無台坏	11.3	6.2	3. 2	3	6	やや精	良	黒·白	灰/灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	
47	14L20	SD17	覆土	須恵器	長頸瓶	10, 6		(3.4)	2		やや粗	良	白・黒	オリーブ黒/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	
48		SD17	覆土	須恵器	褒	(43, 6)		(7, 4)	4		粗	不良	白・砂・長	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	
+	_	_		_		-	0.0		$\rightarrow$	00							
49		SD17	覆土	土師器	無台椀	13. 2	6. 2	4. 2	4	36	やや粗	やや良	砂・赤・骨	明赤褐/明赤褐	ヘラミガキ	ヘラミガキ	
+		SD17	覆土	土師器	無台椀		7.2	(4.4)		9	やや粗	やや良	砂・骨・赤	にぶい赤褐/赤褐	ヘラミガキ	ヘラミガキ	底:回転糸切り
51	14L20	SD17	覆土	土師器	無台椀	12.3	5.0	4. 1	10	15	やや精	良	砂・骨	にぶい橙/にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転糸切り
52	14L20	SD17	覆土	土師器	無台椀	12.3	6.0	3.8	2	36	精	やや不良	砂・石	にぶい褐/にぶい橙	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転糸切り
53	14L20	SD17	覆土	土師器	椀	13. 5		(3. 2)	3	$\neg$	やや精	良	砂	にぶい橙/にぶい橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
54	+	SK32	覆土	土師器	無台椀		5. 2	(1.6)	$\Box$	20	やや精	砂	赤・砂	にぶい橙/にぶい橙	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転糸切り
55		SD02	覆土	土師器	長甕	25. 7	<u> </u>	(1.7)	2	-	粗	やや不良	砂·赤	灰白色/にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
56	_	-	_	上師器	鍋	32. 0		-	3	$\dashv$	やや精		10 OF	にぶい黄橙/にぶい黄橙	ロクロナデ 体部:カキ目		M. 推付善
_	+	SD08	覆土				-	(6. 4)	-	-		やや良				ロクロナデ	外:煤付着
57		SD14	覆土	土師器	坏	17.8	<u> </u>	(3.4)	3	_	やや精	良	砂・赤	橙/にぶい橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
		_									やや粗	やや良	赤・砂	にぶい橙/橙	摩滅	ハケ目	
		SD14	覆土	土師器	長甕			(4. 2)	$\sqcup$			-					外·内: 炭化物付着
58 59	19M24	_	覆土 覆土	土師器	長甕			(4. 2)	H		やや精	良	砂	灰黄褐/にぶい黄橙	平行タタキ目	同心円当て具痕	7F F1.8K16491178
	19M24 19M24	SD14	_			28. 3		_			やや粗	不良	砂・赤	灰黄褐/にぶい黄橙 にぶい黄橙/浅黄橙		ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ	71 13.00 (1.00) 78
59	19M24 19M24 5G24	SD14 SD14 SD26	<b>覆土</b>	土師器	長甕鍋			(5. 8) (4. 6)			やや粗	不良	砂・赤	にぶい黄橙/浅黄橙	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ	7F 73-9/1049/13/8
59 60 61	19M24 19M24 5G24 5G24	SD14 SD14 SD26 SD26	覆土 覆土	土師器 土師器 土師器	長甕鍋	28. 3 15. 8		(5. 8) (4. 6) (3. 1)	3		やや粗	不良やや良	砂·赤砂·石	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩託)	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデか(摩耗)	2F F3-2K1U9W13/48
59 60 61 62	19M24 19M24 5G24 5G24 5G23	SD14 SD14 SD26	<b>覆土</b>	上師器 上師器 上師器	長甕 鍋 小甕 長甕			(5. 8) (4. 6)	3		やや粗 やや粗 粗	不良やや良やや良	砂・赤	にぶい黄橙/浅黄橙	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ	71.0(10)
59 60 61 62	19M24 19M24 5G24 5G24 5G23	SD14 SD14 SD26 SD26	覆土 覆土	土師器 土師器 土師器	長甕鍋			(5. 8) (4. 6) (3. 1)	3 3		やや粗	不良やや良	砂·赤砂·石	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩託)	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデか(摩耗)	77 71.00,000074
59 60 61 62 63	19M24 19M24 5G24 5G24 5G23 13L10	SD14 SD14 SD26 SD26 SD26	<ul><li>覆土</li><li>覆土</li><li>覆土</li></ul>	上師器 上師器 上師器	長甕 鍋 小甕 長甕	15.8		(5. 8) (4. 6) (3. 1) (4. 1)	П		やや粗 やや粗 粗	不良やや良やや良	砂·赤 砂·石 砂·長·赤	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩耗) 平行タタキ目	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデか(摩耗) 同心円当で具痕 ハケ目	7r 11-0x10/001/18
59 60 61 62 63 64	19M24 19M24 5G24 5G24 5G23 13L10	SD14 SD14 SD26 SD26 SD26 SD26 P23 P23	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器	長甕鍋小甕塊	15. 8	82	(5. 8) (4. 6) (3. 1) (4. 1) (3. 0) (4. 0)	3	36	やや粗 やや粗 粗 やや精 やや精	不良 やや良 やや良 やや良 やや良	砂·赤 砂·石 砂·長·赤 砂·石·赤·胃 赤·胃·砂	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/橙 橙/にぶい褐	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか (摩耗) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデか(摩耗) 同心円当て具痕 ハケ目 ロクロナデ ハケ目	底:回転ヘラ切り
59 60 61 62 63 64 65	19M24 19M24 5G24 5G24 5G23 13L10 13L10	SD14 SD14 SD26 SD26 SD26 SD26 P23 P23 P18	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器	長甕納の火火を変える。	15.8	8. 2	(5. 8) (4. 6) (3. 1) (4. 1) (3. 0) (4. 0) 3. 2	3	36	やや粗 やや粗 粗 やや精 やや精	不良 やや良 やや良 やや良 やや不良	砂·赤 砂·石 砂·長·赤 砂·石·赤·骨 赤·骨·砂 白·長·黑	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/橙 橙/にぶい褐 黄灰/灰	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(弊能) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデか(摩鞋) 同心円当て具痕 ハケ目 ロクロナデ ハケ目	
59 60 61 62 63 64 65	19M24 19M24 5G24 5G24 5G23 13L10 13L10	SD14 SD14 SD26 SD26 SD26 SD26 P23 P23	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器	長甕鍋小甕塊	15. 8	8. 2	(5. 8) (4. 6) (3. 1) (4. 1) (3. 0) (4. 0)	3	36	やや粗 やや粗 粗 やや精 やや精	不良 やや良 やや良 やや良 やや良	砂·赤 砂·石 砂·長·赤 砂·石·赤·胃 赤·胃·砂	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/橙 橙/にぶい褐	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか (摩耗) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデか(摩耗) 同心円当て具痕 ハケ目 ロクロナデ ハケ目	底:回転ヘラ切り
59 60 61 62 63 64 65	19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12	SD14 SD14 SD26 SD26 SD26 P23 P23 P18	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器	長甕鍋小甕長碗長碗	15. 8		(5.8) (4.6) (3.1) (4.1) (3.0) (4.0) 3.2 (5.4)	3 14	36	やや粗 やや粗 粗 やや精 やや精 やや精	不良 やや良 やや良 やや良 やや不良 良 不良	砂·赤 砂·石 砂·長·赤 砂·石·赤·骨 赤·骨·砂 白·長·黑	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/橙 橙/にぶい褐 黄灰/灰	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(弊能) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデか(摩鞋) 同心円当て具痕 ハケ目 ロクロナデ ハケ目	底:回転ペラ切り 内外: 口軽部域付着 表面摩耗
59 60 61 62 63 64 65 66	19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12	SD14 SD26 SD26 SD26 P23 P23 P18 P18	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 須恵器 1	長甕鍋小甕碗長碗碗。	15. 8 13. 0 12. 5	5. 7	(5, 8) (4, 6) (3, 1) (4, 1) (3, 0) (4, 0) 3, 2 (5, 4) 4, 4	3 14 3	36	やや租 やや租 租 やや精 やや精 やや精 やや精 やや精	不良 やや良 やや良 やや良 やや不良 良 不良	砂·赤 砂·石 砂·長·赤 砂·石·赤·骨 赤·骨·砂 白·長 黒 砂・子	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/にぶい褐 黄灰/灰 灰黄/灰白	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・が(弊能) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ	ロクロナデ・カキ目・ハラケズリ リ ロクロナデか(摩鞋) 同心円当て具痕 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具痕か ロクロナデ	底:回転~ラ切り 内外:口碌部煤付着 美面螺转 底:回転糸切り表面摩耗
59 60 61 62 63 64 65 66 67	19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12	SD14 SD14 SD26 SD26 SD26 P23 P23 P18 P18 SX05	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器	長甕 鍋 小甕 長遊 板甕 無台坏 甕 無台坏	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9	5. 7	(5.8) (4.6) (3.1) (4.1) (3.0) (4.0) 3.2 (5.4) 4.4	3 14 3 5	36 15	やや租 やや租 租 やや精 やや精 やや精 やや精 やや精	不良 やや良 やや良 やや不良 良 不良 やや良 やや不良	砂·赤 砂·石 砂·長·赤 砂·石·赤·骨 赤·骨・砂 白・長・黒 砂 赤・砂・骨	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/花ぶい褐 黄灰/灰 灰黄/灰白	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩耗) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデル(摩鞋) 同心円当て具板 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具板か ロクロナデ ロクロナデ	底:回転~ラ切り 内外:口碌部煤付着 美面螺转 底:回転糸切り表面摩耗
59 60 61 62 63 64 65 66 67	19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12	SD14 SD26 SD26 SD26 P23 P23 P18 P18	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 須恵器 1	長甕鍋小甕碗長碗碗。	15. 8 13. 0 12. 5	5. 7	(5, 8) (4, 6) (3, 1) (4, 1) (3, 0) (4, 0) 3, 2 (5, 4) 4, 4	3 14 3 5	36	やや租 やや租 租 やや精 やや精 やや精 やや精 やや精	不良 やや良 やや良 やや良 やや不良 良 不良	砂·赤 砂·石 砂·長·赤 砂·石·赤·骨 赤·骨·砂 白·長 黒 砂・子	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/にぶい褐 黄灰/灰 灰黄/灰白	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・が(弊能) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ	ロクロナデ・カキ目・ハラケズリ リ ロクロナデか(摩鞋) 同心円当て具痕 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具痕か ロクロナデ	底:回転~ラ切り 内外:口碌部煤付着 美面螺转 底:回転糸切り表面摩耗
59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69	19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L12 14L14	SD14 SD14 SD26 SD26 SD26 P23 P23 P18 P18 SX05	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器	長甕 鍋 小甕 長 椀 長 色 葉 無 台 坏 、 甕	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9	5. 7	(5.8) (4.6) (3.1) (4.1) (3.0) (4.0) 3.2 (5.4) 4.4	3 14 3 5 9	36 15	やや租 やや租 租 やや精 やや精 やや精 やや精 やや精	不良 やや良 やや良 やや不良 良 不良 やや良 やや不良	砂·赤 砂·石 砂·長·赤 砂·石·赤·骨 赤·骨・砂 白・長・黒 砂 赤・砂・骨	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/花ぶい褐 黄灰/灰 灰黄/灰白	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩耗) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデル(摩鞋) 同心円当て具板 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具板か ロクロナデ ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 内外:口縁部煤付春 美面螺耗 底:回転糸切り表面摩耗
59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70	19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L14 14L13	SD14 SD14 SD26 SD26 SD26 P23 P23 P18 P18 SX05 SX05 SX05	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師師器 土師師器 土恵師器 須恵器 土恵部器 土恵部器 土恵部器 土恵部器 土恵部器 土恵部器	長甕 錫 小甕 長甕 椀 髮 無台坏 甕 無台坏 無台坏	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9	5. 7 7. 9 8. 6	(5.8) (4.6) (3.1) (4.1) (3.0) (4.0) 3.2 (5.4) 4.4 3.4	3 14 3 5 9	36 15	やや粗 和 やや精 やや精 やや精 やや精 やや精 をや精	不良 やや良 やや良 やや中見 やや不良 良 不良 やや良 やや中見 とやや良 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	砂・赤 砂・石 砂・長・赤 砂・石・赤・骨 赤・砂・丘・県 砂 赤・砂・骨 白・長・黒	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/にぶい褐 黄灰/灰 灰黄/灰白 橙/にぶい橙 灰/灰	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩軽) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ エ行タタキ目、頭部: ヨコナデ ロクロナデ ロクロナデ	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデか (摩耗) 同心円当て現底 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て見痕か ロクロナデ ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 内外:口縁部媒付着 表面摩鞋 底:回転糸切り表面摩鞋 底:回転ヘラ切り 外面に墨痕 転用級
59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70	19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L13 14L13 14L13 14L13	SD14 SD14 SD26 SD26 SD26 P23 P23 P18 P18 SX05 SX05 SX5	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師師器 土師師器 須恵器 (須恵器 五恵器 (到恵器 (到恵器 (到恵器 (到恵器 (到恵器 (到恵器 (到恵器 (到	長獎 鍋 小甕 長 椀 長 挽 無 台 坏 要 台 台 台 台 台 台 台 台 安 無 任 台 台 云 安	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9 12. 4	5. 7 7. 9 8. 6	(5.8) (4.6) (3.1) (4.1) (3.0) (4.0) 3.2 (5.4) 4.4 3.4 3.2 (1.9) (5.1)	3 14 3 5 9	36 15	やや租 租 やや精 やや精 やや精 やや精 やや精 精 やや精 精 やや精 精 やや精	不良 やや良 やや良 やや良 やや不良 良 不良 やや良 やや良	砂・赤 砂・石 砂・長・赤 砂・石・赤・骨 赤・骨・砂 白・長 黒 砂 ホ・砂・骨 白 長 黒 具	にぶい黄橙/浅黄橙 黄樹/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/にぶい褐 黄灰/灰 灰黄/灰白 橙/にぶい橙 灰/灰 灰/灰	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩軽) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ	ロクロナデ・カキ目・ハラケズリ リ ロクロナデか、(摩託) 同心円当て具度 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具痕か ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 内外:口縁部媒件着 表:回転糸切り表面摩鞋 底:回転糸切り表面摩鞋 底:回転ヘラ切り 外面に墨痕 転用品
59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71	19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L13 14L13 14L13 14L13	SD14 SD14 SD26 SD26 SD26 P23 P18 P18 P18 SX05 SX05 SX5 SX05	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師 部器 土師 部器 土 主師 部 書 思 惠 惠 郡 銀 惠 惠 惠 惠 惠 惠 惠 惠 惠 惠 器 劉 惠 惠 器 劉 惠 器 器 3 惠 器 3 惠 3 惠 3 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	長斃 鍋 小甕 長甕 椀 長 整 無台坏 悪台 か 無台 か 無 台 か 無 と か 無 と か 無 と か 無 と か ま を き を き を き を き を き を き を き を き を き を	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9 12. 4	5. 7 7. 9 8. 6	(5.8) (4.6) (3.1) (4.1) (3.0) (4.0) 3.2 (5.4) 4.4 3.2 (1.9) (5.1) (8.0)	3 14 3 5 9	36 15	やや租 租 やや精 やや精 やや精 やや精 やや精 特 やや精 精 やや精 やや精 やや精	不良 やや良 やや良 やや良 やや不良 良 不良 やや良 やや良	砂・赤 砂・石 砂・長 赤・砂・石・赤・骨 赤・骨・砂・石・長・型 白・長・黒 ・砂・骨 白 白・長 黒 長 黒 長	にぶい黄橙/浅黄橙 黄檀/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/根 橙/にぶい掲 黄灰/灰 灰黄/灰白 橙/にぶい橙 灰/灰 灰/灰 灰/灰	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデが(摩飩) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ カキ目・平行タタキ目	ロクロナデ・カキ目・ハラケズリ リ ロクロナデか、(摩耗) 同心円当て良飯 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て良板か ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 内外:口縁部媒付着 表面摩鞋 底:回転糸切り表面摩鞋 底:回転ヘラ切り 外面に墨痕 転用砂
59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73	19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L14 14L13 14L13 14L13 14L13	SD14 SD26 SD26 SD26 SD26 SD26 P23 P18 P18 SX05 SX05 SX05 SX05 SX05	<ul> <li>覆土</li> </ul>	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 須恵器 人主師器 須恵器 五恵惠器 五恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器	長養鍋,小養長養梅長養生生。	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9 12. 4	5. 7 7. 9 8. 6	(5, 8) (4, 6) (3, 1) (4, 1) (3, 0) (4, 0) 3, 2 (5, 4) 4, 4 3, 2 (1, 9) (5, 1) (8, 0) (10, 1)	3 14 3 5 9	36 15	やや租 租 やや精 やや精 やや精 やや精 精 やや精 精 やや精 なや精 な	不良 やや良 やや良 やや不良 良 不良 やや良 良 をや良 良 をや良 し やや良 し やや し り やや り り や り り り や り り り り り り り	砂·赤 砂·丘·赤·骨 砂·丘·赤·骨 赤·骨·段·展 砂 赤·砂·骨 白·艮·黑 黑 星 展 裏 展 裏 長 裏 裏	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/にぶい褐 黄灰/灰 灰角/灰白 橙/にぶい橙 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩鞋) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ カキ目・平行タタキ目 カキ目	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデル(摩鞋) 同心円当て具張 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具痕か ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ 同心円当て具痕 カキ目	底:回転ヘラ切り 内外:口縁部媒付着 表面摩鞋 底:回転糸切り表面摩鞋 底:回転ヘラ切り 外面に墨痕 転用砂
59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73	19M24 19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L13 14L13 14L13 14L13 14L13 14L13	\$1014 \$1014 \$1014 \$1014 \$1016	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 須恵器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器	長獎 鍋 小甕 長 鏡 板 髮 無 台 坏 甍 台 台 坏 無 台 台 坏 無 台 台 坏 無 色 台 坏 無 色 台 坏 無 色 台 坏	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9 12. 4	5. 7 7. 9 8. 6	(5, 8) (4, 6) (3, 1) (4, 1) (3, 0) (4, 0) 3, 2 (5, 4) 4, 4 3, 2 (1, 9) (5, 1) (8, 0) (10, 1) (4, 4)	3 14 3 5 9	36 15	やや租           やや租           租           やや精           やや精           **やや精           **やや精           **やや精           **やや特           **やや特           **やや相           **やや相	不良 やや良 やや良 やや不良 良 不良 やや果 良 やや果 良 やや果 良 やや果 良 ややや良 良 やや果 良 やや果 良 やや果 良 やや果 し と やや し し し し し し し し し し し し し	砂·赤 砂· 石·赤·青 砂· 石·赤·青 赤·青·砂 白· 長·馬 砂 赤·砂·青 白 - 長·馬 長、馬	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/花ぶい褐 黄灰/灰 灰黄/灰白 橙/にぶい橙 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩鞋) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ カキ目・平行タタキ目 カキ目 平行タタキ目	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデル(摩耗) 同心円当て具候 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具痕か ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 内外:口縁部媒付着 表面摩鞋 底:回転糸切り表面摩鞋 底:回転ヘラ切り 外面に墨痕 転用砂
59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73	19M24 19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L13 14L13 14L13 14L13 14L13 14L13	SD14 SD26 SD26 SD26 SD26 SD26 P23 P18 P18 SX05 SX05 SX05 SX05 SX05	<ul> <li>覆土</li> </ul>	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 須恵器 人主師器 須恵器 五恵惠器 五恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器	長養鍋,小養長養梅長養生生。	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9 12. 4	5. 7 7. 9 8. 6	(5, 8) (4, 6) (3, 1) (4, 1) (3, 0) (4, 0) 3, 2 (5, 4) 4, 4 3, 2 (1, 9) (5, 1) (8, 0) (10, 1)	3 14 3 5 9	36 15	やや租 租 やや精 やや精 やや精 やや精 精 やや精 精 やや精 なや精 な	不良 やや良 やや良 やや不良 良 不良 やや良 良 をや良 良 をや良 し やや良 し やや し り やや り り や り り り や り り り り り り り	砂·赤 砂·丘·赤·骨 砂·丘·赤·骨 赤·骨·段·展 砂 赤·砂·骨 白·艮·黑 黑 星 展 裏 展 裏 長 裏 裏	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/にぶい褐 黄灰/灰 灰角/灰白 橙/にぶい橙 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩鞋) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ カキ目・平行タタキ目 カキ目	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデル(摩鞋) 同心円当て具張 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具痕か ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ 同心円当て具痕 カキ目	底:回転ヘラ切り 内外:口縁部媒付着 表面摩鞋 底:回転糸切り表面摩鞋 底:回転ヘラ切り 外面に墨痕 転用砂
59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75	19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L13 14L13 14L13 14L13 14L13 14L13 14L13	\$1014 \$1014 \$1014 \$1014 \$1016	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 須恵器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器 須恵惠器	長獎 鍋 小甕 長 鏡 板 髮 無 台 坏 甍 台 台 坏 無 台 台 坏 無 台 台 坏 無 色 台 坏 無 色 台 坏 無 色 台 坏	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9 12. 4	5. 7 7. 9 8. 6	(5, 8) (4, 6) (3, 1) (4, 1) (3, 0) (4, 0) 3, 2 (5, 4) 4, 4 3, 2 (1, 9) (5, 1) (8, 0) (10, 1) (4, 4)	3 14 3 5 9 7 7	36 15	やや租           やや租           租           やや精           やや精           **やや精           **やや精           **やや精           **やや特           **やや特           **やや相           **やや相	不良 やや良 やや良 やや不良 良 不良 やや果 良 やや果 良 やや果 良 やや果 良 ややや良 良 やや果 良 やや果 良 やや果 良 やや果 し と やや し し し し し し し し し し し し し	砂·赤 砂· 石·赤·青 砂· 石·赤·青 赤·青·砂 白· 長·馬 砂 赤·砂·青 白 - 長·馬 長、馬	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/花ぶい褐 黄灰/灰 灰黄/灰白 橙/にぶい橙 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデか(摩鞋) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ カキ目・平行タタキ目 カキ目 平行タタキ目	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデル(摩耗) 同心円当て具候 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具痕か ロクロナデ	底:回転へラ切り 内外:口縁部媒付着 表:回転条切り表面摩耗 底:回転糸切り表面摩耗 底:回転へラ切り 外面に墨痕 転用級
59 60 61 62 63 64 65 66 67 70 71 72 73 74 75	19M24 19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L13	SD14 SD26 SD26 SD26 SD26 SD26 P23 P18 P18 SX05 SX05 SX05 SX05 SX05 SX05 SX05 SX05	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	上師器 上師器 上師器 須惠器 須惠器 土師器 須惠器 和惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 須惠器 五郎器 須惠器 土師路 須惠器 上師路 八五郎 八五郎 八五郎 八五郎 八五郎 八五郎 八五郎 八五郎 八五郎 八五郎	長獎 編 小獎 長獎 編 小獎 概 長 始 表 赞 無 台	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9 12. 4 22. 3	5. 7 7. 9 8. 6	(5, 8) (4, 6) (3, 1) (4, 1) (3, 0) (4, 0) 3, 2 (5, 4) 4, 4 3, 4 3, 2 (1, 9) (5, 1) (8, 0) (10, 1) (4, 4) (3, 6)	3 14 3 5 9	36 15	やや租           やや租           租           やや精           やや精           **や特           **や特           **や特           **や特           **やや特           **やや利           **やや利           ***・特           **・中・特           **・中・中・中・中・中・中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不良 やや良 やや良 やや不良 良 不良 やや良 良 やや良 良 やや良 良 やや良 た やや良 た やや良 た やや良 やや良	砂·赤 砂·石 砂·長·赤 砂·石·赤·青 赤·青·砂 白·長·黑 砂 赤·砂·号 白·長 黑 長 里 白·長·黑	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/にぶい褐 黄灰/灰 灰黄/灰白 橙/にぶい橙 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデが(摩託) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ カキ目・平行タタキ目 東行タタキ目 カキ目	ロクロナデ・カキ目・ヘラケズリ リ ロクロナデか (摩耗) 同心円当て泉疾 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具痕か ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 内外:口縁部媒付着 表:回転糸切り表面摩耗 底:回転糸切り表面摩耗 底:回転ヘラ切り 外面に墨痕 転用破
59 60 61 62 63 64 65 66 67 70 71 72 73 74 75	19M24 19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L13	\$1014 \$1026	覆土 覆	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 利恵器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器	長甕 鍋 小甕塊 根	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9 12. 4 22. 3	5. 7 7. 9 8. 6	(5, 8) (4, 6) (3, 1) (4, 1) (3, 0) (4, 0) 3, 2 (5, 4) 4, 4 3, 4 3, 2 (1, 9) (5, 1) (8, 0) (10, 1) (4, 4) (3, 6) (5, 0)	3 14 3 5 9 7	36 15	やや租           やや租           やや精           やや精           やや精           やや精           やや精           やや精           やや報           やや報           セッや報           セット報           セット報           セット報           租	不良 やや良 やや中見 やや中見 やや中見 やや中見 良 見 りやや見 良 りやや見 良 りややれり た ややり り ややり り ややり り ややり り ややり り ややり り ややり り ややり り ややり り ややり り し り し り し り し し し し し し し し し し し し し	砂·赤 砂·石 赤·青 砂·石 赤·青 砂·石 赤·青 砂·石 赤·青 砂·石 赤·青 砂·石 · 康· 砂·石 · 艮·艮 · 艮 · 艮 · 艮 · 艮 · 艮 · 艮 · 艮 · 艮	にぶい黄橙/浅黄橙 黄橙/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/花ぶい褐 黄灰/灰 灰 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデが(摩軽) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ ア行タタキ目、頭部: ヨコナデ ロクロナデ	ロクロナデ・カキ目・・フケズリ リ ロクロナデか (摩耗) 同心円当て具度 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ 平行当て具板か ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 内外:口縁部媒付着 表:回転糸切り表面摩耗 底:回転糸切り表面摩耗 底:回転ヘラ切り 外面に墨痕 転用破
59 60 61 62 63 64 65 66 67 70 71 72 73 74 75 76 77	19M24 19M24 19M24 5624 5624 5623 13L10 13L10 14L12 14L12 14L12 14L13	\$1014 \$1014 \$1026	覆土 覆	土師器 土師器 土師器 土師器 土師器 利恵器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器 須恵器 東京器 須恵器 東京器 須恵器	長甕 網、小甕 甕 板 板 一 長 板 一 長 板 一 天 板 一 天 一 天 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大	15. 8 13. 0 12. 5 12. 2 11. 9 12. 4 22. 3	5. 7 7. 9 8. 6 7. 6	(5, 8) (4, 6) (3, 1) (4, 1) (3, 0) (4, 0) 3, 2 (5, 4) 4, 4 3, 2 (1, 9) (5, 1) (8, 0) (10, 1) (4, 4) (3, 6) (5, 0) (4, 3)	3 14 3 5 9 7	36 15 11 13	やや租 やや額 租 やや精 やや精 やや精 をや精 をや精 をや精 をや精 をや精 をや精 をや精	不良 やや良 やや良 やや中見 やや中見 やや中見 やや中見 やや中見 見 見 やや中見 やや中見 やや中見 やや中見 見 やや不良 見 やや不良 見 やや不良 見 やや不良 見 やや不良 れ の で や の の の の の の の の の の の の の	砂·赤 砂·長·赤 骨 赤 骨 心 一 音 一 音 一 音 一 音 一 音 一 音 一 音 一 音 一 音 一	にぶい黄橙/浅黄橙 黄樹/橙 にぶい黄橙/浅黄橙 橙/にぶい褐 黄灰/灰 灰黄/灰白 橙/にぶい橙 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 灰/灰 ズ・ボース・パース・パース・パース・パース・パース・パース・パース・パース・パース・パ	平行タタキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデ・カキ目 ロクロナデが(摩飩) 平行タタキ目 ロクロナデ カキ目 ロクロナデ カキ目 平行タタキ目 カキ目 平行タウキ目 カキ目 アイテクキ目 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ	ロクロナデ・カキ目・・ラケズリ リカー・・ラケズリ 関心円当て良疾 ハケ目 ロクロナデ ハケ目 ロクロナデ ア行当て良嫉か ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ 同心円当て良疾 カキ目 平行当て良、同心円当て良疾 ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 内外:口縁部様付着 表面際終 版:回転へり切り 外面に墨痕 転用硬 底:回転ヘラ切り 外面に墨痕 転用硬

#### (2) 須恵器・土師器

(2	1 15		_ ph 4p				_			_								
	反遺物	出土	位置		種別	器種	沒	t量 (cm	1)	口禄 残存率	底部 残存率	胎土	燎成	混入物	色調		整	備考
No	No.	グリッド	遺構名	層位	13577.4	387135	口径	底径	器高	(0/36)	(0/36)	7874 _L_	2000	1447 \$197	(外/内)	外	内	Notes 7
9	81	25S3	SX01	覆土	土師器	小甕	13. 4		(4.3)	14		粗	やや良	砂	明赤褐/明赤褐	ロクロナデか	ロクロナデか 体:カキ目(摩耗)	
9	82	6H14·15	SX17	覆土	土師器	小甕	17.4		(5.3)	3		粗	やや不良	砂・赤	にぶい黄橙/浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
10	83	7H17	SX15	覆土	須恵器	無台坏	12.5	8. 2	3. 1	15	36	精	良	白·黒·長	灰白/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り
10	84	14L12	SX07	覆土	土師器	無台椀		6. 2	(2.9)		25	やや精		砂・赤・骨	にぶい黄橙/にぶい黄橙	ヘラミガキ	ヘラミガキ	
10	85	14L12	SX07	覆土	土師器	小甕	13.8		(5.1)	2		やや精	やや不良	赤・砂	にぶい黄褐/浅黄橙	ロクロナデか(摩耗)	ロクロナデか(摩耗)	
10	86	6H20	SX16	覆土	土師器	椀	12.0		(3.1)	5		粗	やや良	砂·石·赤	にぶい黄橙/にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
10	87	7H16	SX16	覆土	土師器	長甕			(3.6)			やや精	やや不良	砂・赤・骨	にぶい黄橙/浅黄橙	平行タタキ目	平行当て具痕	
10	88	6H20	SX16	覆土	土師器	長甕			(6.1)			粗	不良	砂·石·赤	灰白/橙	平行タタキ目	平行当て具痕	
10	89	6H20	SX16	覆土	土師器	長甕			(6.6)			やや粗	良	砂·骨	黒褐/浅黄橙	平行タタキ目	同心円当て具痕	外:炭化物付着
10	90	5G24		III	須恵器	坏蓋	13. 4		2.4			やや粗	やや良	白·黒	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	内:墨痕 転用硯
10	91	12K13		III	須恵器	坏蓋			(2.0)			やや粗	良	白·黒	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	内:墨痕 転用硯
10	92	5G24		III	須恵器	有台坏	13.0	7. 9	4. 1	9	17	粗	良	長・白・黒	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	外:体部墨書
10	93	13K21		III	須恵器	有台坏	10.4	5. 5	5.3	6	9	精	良	砂	灰白/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り
10	94			排土	須恵器	有台坏	11.2	6.6	4.8	8	13	やや粗	良	白·砂·長·黒	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:漆書 高台貼付
10	95	10J12		III	須恵器	有台坏		8. 2	(1.9)		22	やや精	やや不良	砂	にぶい黄橙/明褐灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り→ナデ 外:底部ヘラ書き『×』
10	96	9J10		III	須恵器	無台坏	12.6	9.0	3.6	7	12	精	良	白・黒	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り後ナデか
10	97	6H14		III	須恵器	無台坏	12.6	7.4	3. 4	12	16	精	良	白·黒	青灰/青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	
10	98	25P22 · 23		III	須恵器	無台坏	11.8	6.8	2.5	10	8	精	良	白·黒	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り
10	99	25P22 • 25Q2		III	須恵器	無台坏	11.8	6. 4	3.4	11	13	やや精	良	黒·白	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り
10	100	14L13 · 14		III	須恵器	無台坏	12.9	8.7	3. 2	12	36	やや精	良	白	灰白/灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 墨書
10	101	14L19		III	須恵器	無台坏	13. 4	8.8	3. 3	8	13	精	やや良	黒·白	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 漆書
10	102	14L16		Ш	須恵器	無台坏	11. 6	7. 6	3. 5	2	36	粗	やや良		灰白/灰黄	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り(右) 漆書 墨痕 転用硯 内:底部煤付着
10	103	15L16		III	須恵器	無台坏	11.8	7.8	3. 1	2	14	粗	やや良	黒	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 墨書
10	104	14L13		III	須恵器	無台坏	12. 2	8. 0	3. 1	8	25	やや精	良	白	明青灰/青灰	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転ヘラ切り 内:底部と体部に墨痕 転用硯
10	105	6H13		III	須恵器	遊	17.6		(3.9)	2		やや粗	不良	白・砂	暗灰/灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	
10	106	25P23		III	須恵器	小壺	2. 9		(6.5)	36		やや精	不良	白·黒	オリーブ黒/灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	外:自然釉
10	107	14L19		III	須恵器	長頸瓶			(5.9)	1		やや粗	やや良	黒・白	灰/灰	ロクロナデ	ロクロナデ	
10	108	8119		III	須恵器	甕			(1.4)			やや粗	良	白・長	灰/灰	ヨコナデ・平行タタキ	ヨコナデ・同心円当て具	
10	109	6H7		III	須恵器	築			(17.8)			やや精	やや不良	白·赤	灰/灰	平行タタキ	平行当て具痕	
10	110	14L19		III	須恵器	築			(11.7)			やや粗	やや不良	白·長·黒	灰/灰	平行タタキ目	平行当て具・同心円当て具痕	
10	111	6H15		III	須恵器	築			(7.3)	Ш		やや粗	やや不良	黒·白	灰/灰白	平行タタキ目・カキ目	同心円当て具痕	
10	112	14L19		III	須恵器	長頸瓶			(9.7)			やや粗		黒·白	灰白/灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	
10	113	14L18		III	須恵器	長頸瓶		8.3	(4.8)		17	やや粗	やや良	白·黒	灰白/灰白	ロクロナデ	ロクロナデ	
10	114	25R10 · 25Q2		III	須恵器	横瓶			(14.3)			やや粗	良	黒·白	灰白/灰	平行タタキ	同心円当て具痕	
11	115	25R20		III	土師器	無台椀	12. 3	5. 5	3. 9	11	36	やや粗	やや良	砂·骨·赤	にぶい橙/にぶい橙	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転糸切り
11	116	14L13		III	土師器	無台坏	11.4	7. 7	3. 4	5	36	粗	やや良	砂	にぶい黄橙/にぶい黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	底:回転糸切り→ナデ
11	117	6H20		III	土師器	鍋	35. 4		(7.0)	3		粗	良	砂·石·赤	浅黄橙/浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
11	118	6H20 • 7H16		III	土師器	拠	25. 6		(5. 2)	6		やや粗	やや良	赤・砂	浅黄橙/浅黄橙	ロクロナデ	ロクロナデ	
11	119	6H20	-	III	内面 黒色	無台椀		5. 0	(2.1)		8	やや粗	やや良	砂・赤・骨	浅黄橙/黒	ロクロナデかケズリ	ロクロナデかヘラミガキ	内: 黑色処理

#### (3) 木製品

(0) / •	3× 111									
図版No.	遺物No.	出:	土位置		種別	ì	去量(cm)※最大	値	木取	備考
LSJ/JJCINO.	JE 497100.	グリッド	遺構名	層位	1967)1	長さ	幅	厚さ	小叔	拥布
11	120	16M2·7	P14	覆土	柱根	(46.5)	24. 5	23.0	分割材	
11	121	7H17	P35	覆土	柱根	(49.5)	20.0	22. 5	分割材	
11	122	24P25	SE01	覆土	笏状木製品	(22. 2)	3.8	0.6	柾目	
11	123	8118	SE02	覆土	箸状木製品	(15. 1)	0.5	0.4	柾目	
11	124	8118	SE02	覆土	箸状木製品	(12.6)	0.7	0.5	柾目	
11	125	818 • 13	SE02	覆土		11.5	2.8	0.9	柾目	
11	126	21N7	P13	覆土		(7.2)	(2.1)	(1.7)		

#### (4) 石製品

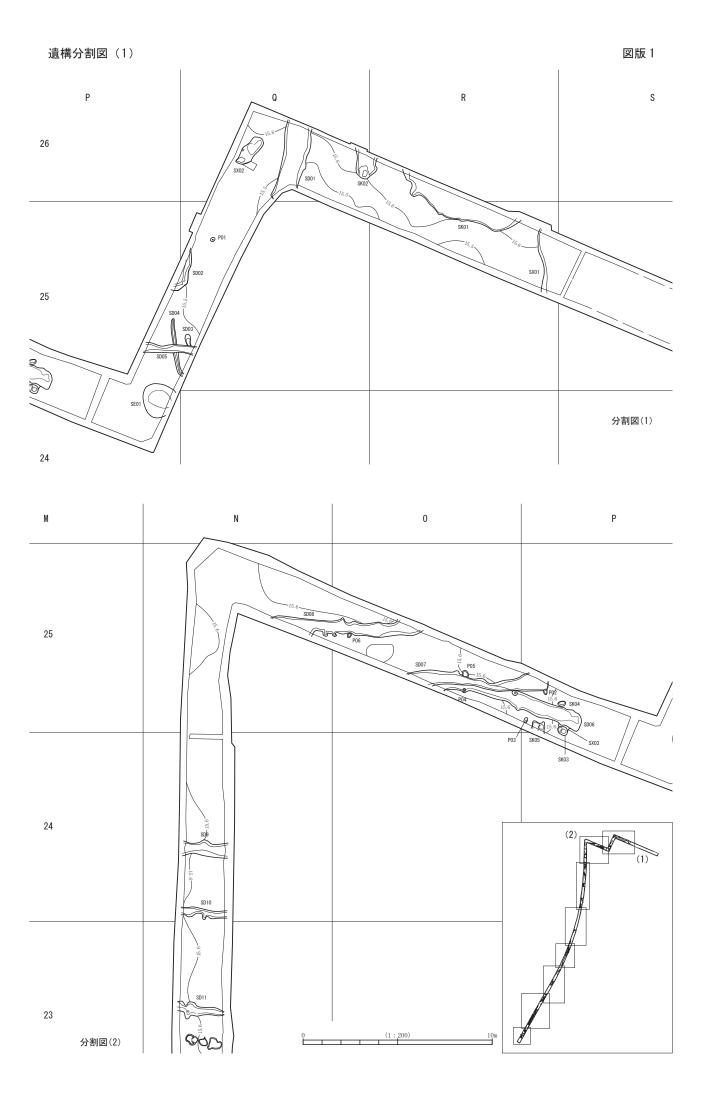
図版No.	遺物No.	出:	土位置		2601	石材	沒	去量(cm)※最大(	直	重量(g)	備考
DSJ/JKIVO.	1 <u>月</u> 4万700.	グリッド	遺構名	層位	他力リ	10101	長さ	幅	厚さ	里里(g)	181-5
11	127	7H17		III	砥石	凝灰岩	11.7	8. 7	3. 0	245. 3	
11	128	14L20	SD17	覆土	被熱礫	安山岩	8. 1	7.3	6. 2	446. 5	

#### (5) 鍛冶関連遺物

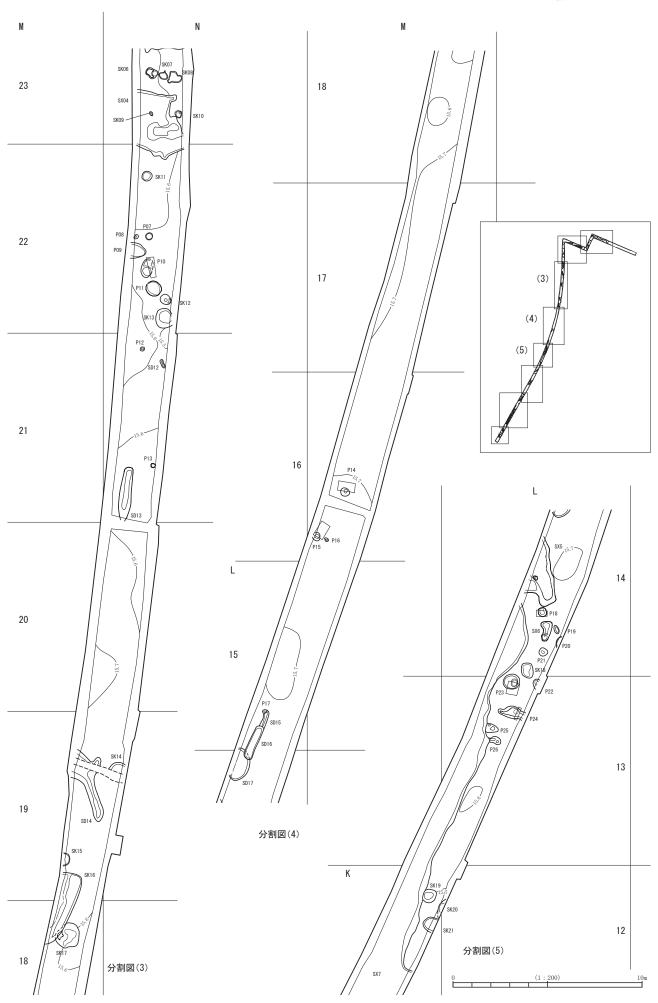
EVER M.	遺物No.	出	土位置		\$6.0H		法量(cm)		重量(g)	做老
図版No.	JEL 1901NO.	グリッド	遺構名	層位	196,01		(25.30. (CIII)		重重(g)	備考
11	129	5G23		III	羽口	長さ (7.5)	外径 6.5	内径 2.5	121.0	付着物あり
11	130	5G24		III	鉄滓	長幅 4.5	短幅 3.9	厚さ 1.1	37. 0	

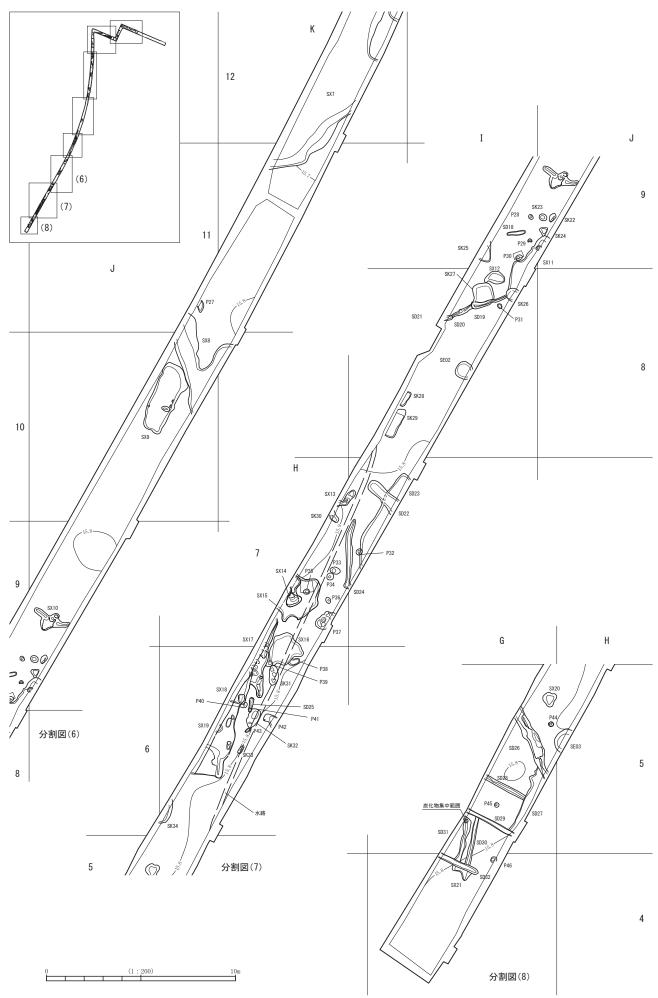
#### (6) 金属製品

図版No.	遺物No.	出:	土位置		種別	ò	去量(cm)※最大	Ť.	重量(g)	備考
ISJ/JKINO.	JE 497NO.	グリッド	遺構名	層位	作組力リ	長さ	幅	厚さ	里里(g)	拥布
11	131	4G14		Ш	丸鞆	4. 2	2. 9	0.8	15. 1	
11	132	25P21	SE01	炭化物層	古銭		直径2.5		2.3	神功開宝
11	133	25P21	SE01	炭化物層	古銭		直径2.4		1.7	隆平永宝



週版2 遺構分割図(2)





図版4 遺構個別図(1)

1 黒褐色粘土 直径  $1\sim 10$ mm の炭化物を 2%含む

2 黒褐色シルト 直径 1 ~ 5mm の炭化物を 5%含む

IV層土を小ブロック状に多量含む

3 黒色シルト 腐植物を多量含む

7 黒色シルト 大半が腐植物である

6 褐灰色粘土 IV層の崩落土

4 黒色粘土 腐植物と粘土が混在する

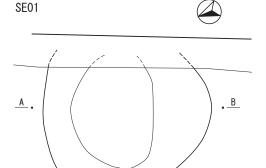
5 黒色粘土 腐植物とIV層土が混在する

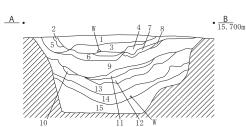
8 黒褐色シルト 腐植物とシルトが混在する

SE02

Α.

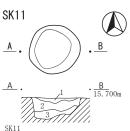
\_A\_ .



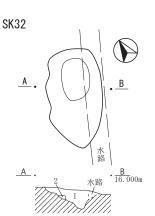


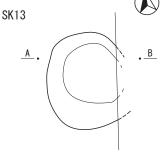
#### SE01

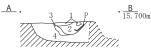
- 1 灰色粘土+黄灰色粘土 炭化物を含む
- 2 暗灰色粘土 + 灰色粘土 + 黄灰色粘土 炭化物を多く含む
- 3 明黄灰色粘土 + 灰色粘土 炭化物を含む
- 4 暗灰色粘土 明黄灰色粘土粒を含む 炭化物を多く含む
- 5 黒色土 灰色粘土を含む 炭化物を非常に多く含む
- 6 灰色粘土+黒色土 炭化物を多く含む
- 7 暗褐灰粘土 炭化物を多く含む
- 8 灰色粘土 + 明黄灰色粘土 炭化物を含む
- 9 暗褐灰色粘土 + 明黄灰色粘土 + 青灰色粘土 炭化物を含む
- 10 灰色粘土 明黄灰色粘土粒を含む 炭化物を少量含む
- 11 褐灰色粘土 + 青灰色粘土 明黄灰色粘土粒を含む 炭化物を少量含む
- 12 暗灰色粘土 青灰色粘土粒を含む 炭化物を含む
- 13 暗灰色粘土+青灰色粘土 炭化物を含む
- 14 暗灰色粘土 植物遺体(木質の腐植したもの)を含む
- 15 暗青灰色粘土



- 1 灰褐色粘土+黄褐色粘土 炭化物を含む
- 2 褐灰色粘土 + 灰色粘土 炭化物を含む
- 3 灰色粘土



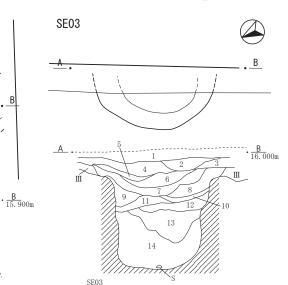




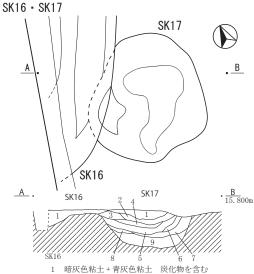
#### SK13

- 1 褐色粘土+黄褐色粘土
- 2 黒褐色土+黄褐色粘土 炭化物を含む
- 3 黄褐色粘土 + 褐色粘土 炭化物を含む
- 4 黄褐色粘土 + 灰褐色シルト

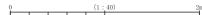
- 1 黄灰色粘土 直径 0.5 ~ 10mm の炭化物を 5%含む IV層土を小ブロック状に 10%含む
- 2 黄灰色シルト 直径 0.5mm の炭化物を 1%含む



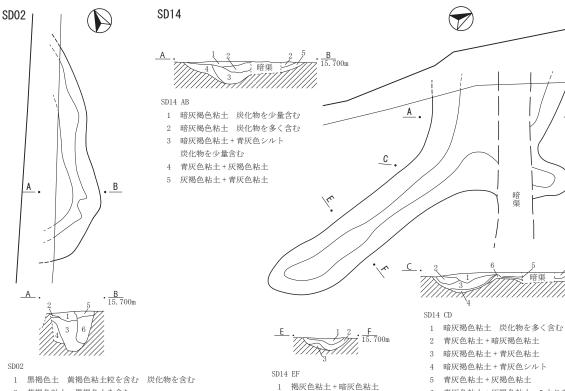
- 1 暗褐色粘土 水田耕作土
- 2 暗褐色粘土 植物の根多く含む
- 3 褐色粘土
- 4 暗褐灰色粘土 黄褐色粘土を含む
- 5 暗褐灰色粘土 + 褐灰色粘土 + 黒褐色粘土 炭化物を含む
- 6 暗褐灰色粘土 褐灰色粘土を含む 炭化物を含む
- 褐灰色粘土 黄褐色粘土を含む 炭化物を含む
- 8 灰褐色粘土 + 褐色粘土 + 黄褐色粘土 炭化物を含む
- 9 灰褐色粘土+褐色粘土 炭化物を含む
- 10 黒褐色粘土 + 暗褐灰色粘土 腐食土を含む
- 11 暗灰色粘土 + 暗褐灰色粘土 青灰色粘土を含む 炭化物を含む
- 12 暗褐灰色粘土 + 青灰色粘土 炭化物を含む
- 13 青灰色粘土 + 暗灰色粘土 炭化物を含む
- 14 暗灰色粘土+青灰色粘土 炭化物を含む



- SK17
- 1 黄灰色粘土 直径 0.5~1mm の炭化物を1%含む
- 2 黒褐色粘土 炭化物を多量含む
- 3 暗灰黄色粘土 直径 1mm の炭化物を 1%含む
- 4 黄灰色シルト 灰白色粘土がブロック状に混在する
- 5 褐灰色粘土 直径  $0.5\sim3\mathrm{mm}$  の炭化物を 1%含む IV層土を小ブロック状に少量含む
- 6 黄灰色粘土 IV層土を小ブロック状に少量含む
- 7 黄灰色粘土 直径1~5mmの炭化物を1%含む IV層土をブロック状に含む
- 8 黄灰色粘土 直径 0.5 ~ 1mm の炭化物を 1%含む
- 9 黄灰色粘土 直径 0.5 ~ 1mm の炭化物を 1%含む IV層土を小ブロック状に含む



図版5 遺構個別図(2)

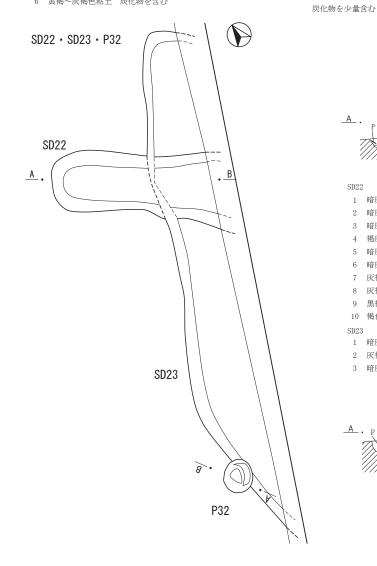


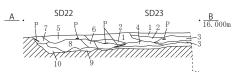
- 2 黄褐色粘土 黒褐色土を含む
- 3 黄褐色粘土 黒褐色土を含む 炭化物を多く含む
- 4 黄褐〜灰褐色粘土 炭化物を含む
- 5 黄褐〜灰褐色粘土 + 褐灰色粘土 炭化物を多く含む
- 6 黄褐〜灰褐色粘土 炭化物を含む

- 6 青灰色粘土 + 灰褐色粘土 5 より青灰色粘土多い

. B

- 7 暗灰褐色粘土+青灰色粘土
- 8 青灰色粘土+暗灰褐色粘土





#### SD22

炭化物を多く含む

炭化物を少量含む

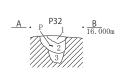
2 褐灰色粘土

3 暗褐灰色粘土

- 1 暗灰褐色粘土 + 灰褐色粘土 炭化物を含む
- 2 暗灰褐色粘土+黄褐色粘土 炭化物を含む
- 3 暗灰褐色粘土 灰褐色粘土を含む 炭化物を含む
- 4 褐灰色粘土 + 黒褐色粘土 腐植土を含む
- 5 暗灰褐色粘土 + 灰褐色粘土 炭化物を多く含む
- 6 暗灰褐色粘土 + 灰褐色粘土
- 7 灰褐色粘土 灰褐色粘土を含む
- 8 灰褐色粘土 灰褐色粘土、炭化物を含む
- 9 黒褐色粘土 + 褐色粘土 腐植土 東端の下は炭化物の層
- 10 褐色粘土 + 灰褐色粘土

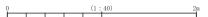
#### SD23

- 1 暗灰褐色粘土 + 灰褐色粘土
- 2 灰褐色粘土+暗灰褐色粘土
- 3 暗灰褐色粘土 灰褐色粘土を含む 炭化物を含む

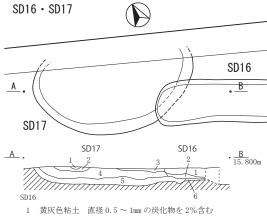


#### P32

- 1 黒色粘土 直径 0.5 ~ 10mm の炭化物を 50%含む IV層土を小ブロック状に少量含む
- 2 黄灰色粘土 直径 0.5 ~ 2mm の炭化物を 2%含む
- 3 黄灰色粘土 直径  $0.5\sim 2$ mm の炭化物を 1%含む



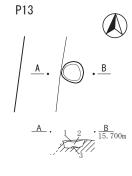
図版 6



- ・ 黄灰色粘土 直径 0.5~1mmの炭化物を2%含む 灰白色粘土をブロック状に少量含む
- 2 黄灰色シルト 灰白色粘土をブロック状に少量含む

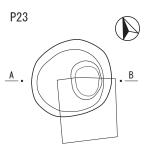
SD17

- 1 灰白色粘土 シルトを若干含む
- 2 黒色粘土 炭化物を含む 遺物出土
- 3 黄灰色粘土 直径  $0.5\sim1$ mm の炭化物を 1%含む
- 4 黄灰色シルト 直径 0.5~2mm の炭化物を 2%含む
- 5 黒褐色粘土 腐植物が大半を占める
- 6 黄灰色シルト

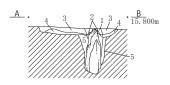


P13

- 1 暗灰色粘土+青灰色粘土 炭化物を含む
- 2 暗灰色粘土 + 青灰色粘土 炭化物を多く含む
- 3 青灰色粘土

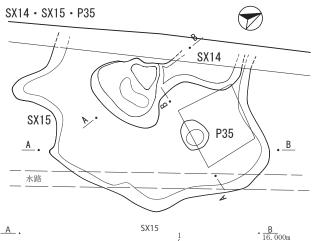


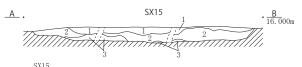
遺構個別図(3)



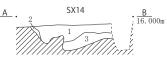
P23

- 1 暗灰色粘土 青灰色粘土粒を含む 炭化物を少量含む
- 2 黄灰色粘土 直径 0.5mm の炭化物を 1%含む
- 3 暗灰色粘土+青灰色粘土
- 4 青灰色粘土 暗灰色粘土を含む
- 5 黄灰色粘土 直径 0.5mm の炭化物を 1%含む シルトを多く含む



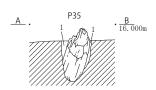


- 1 黄灰色粘土 直径 1 ~ 3mm の炭化物を 7%含む
- 2 灰白色粘土 直径  $0.5 \sim 1$ mm の炭化物を 1%含む
- 3 灰白色シルト 直径 0.5mm の炭化物を 1%含む



SX14

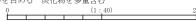
- 1 褐灰色粘土 直径 1 ~ 3mm の炭化物を 3%含む IV層土を小ブロック状に少量含む 黄褐色斑多数あり
- 2 黄灰色シルト IV層土が混在する
- 3 黄灰色粘土 直径 0.5~1mm の炭化物を 1%含む IV層土を小ブロック状に少量含む

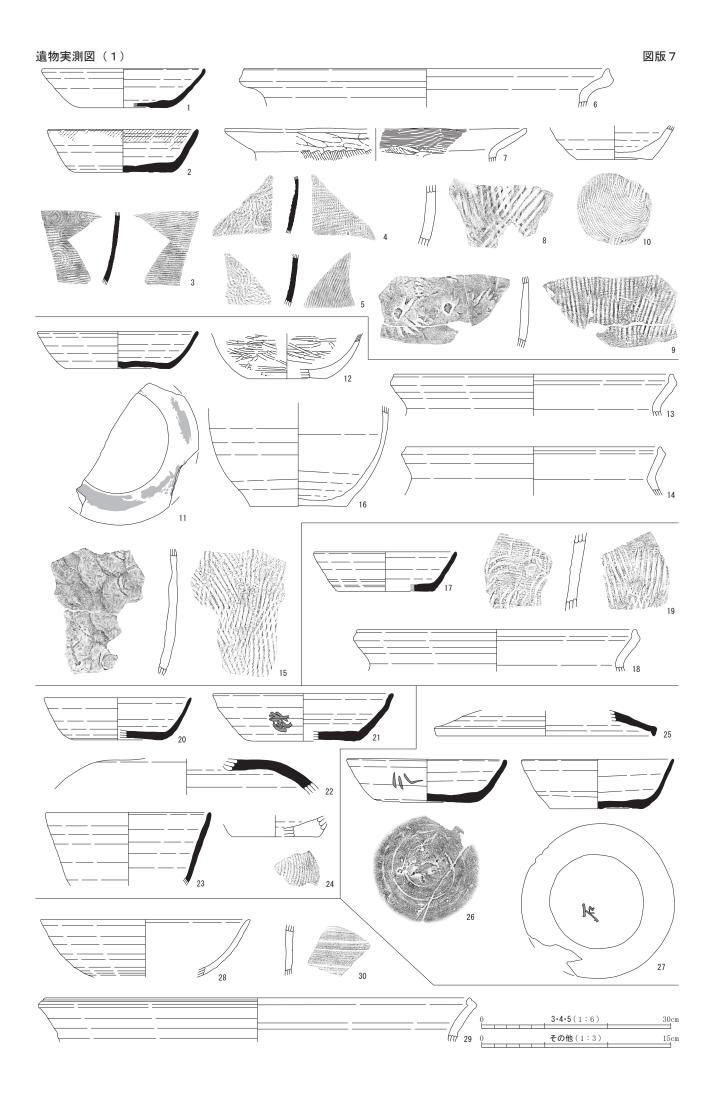


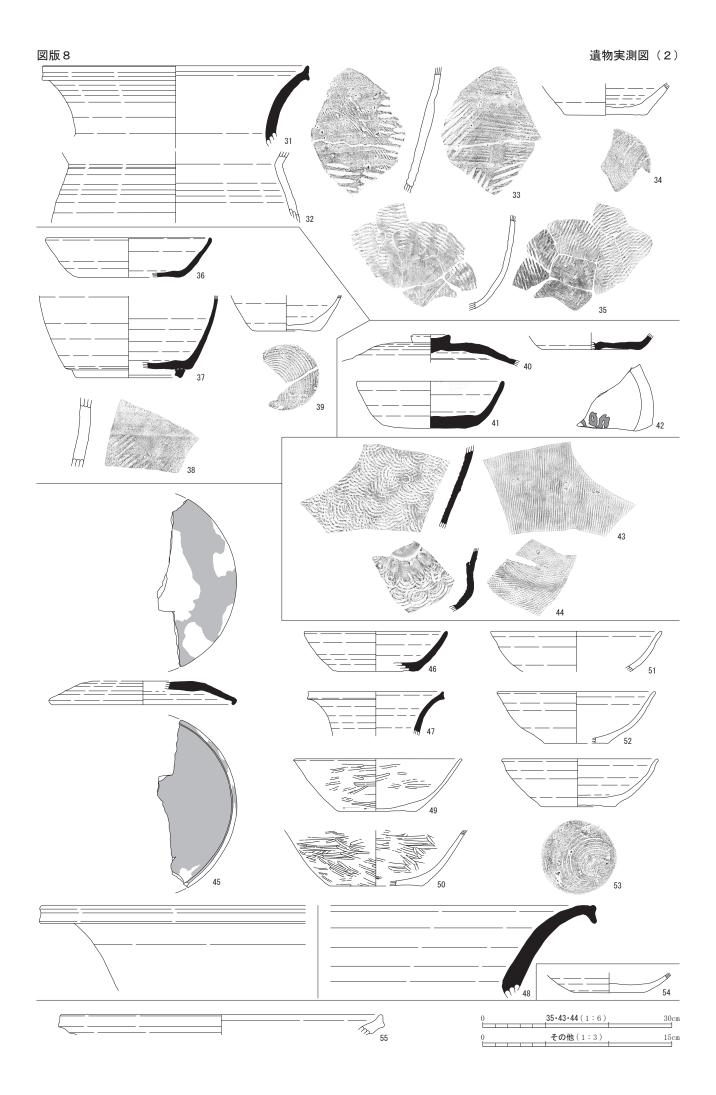
P35

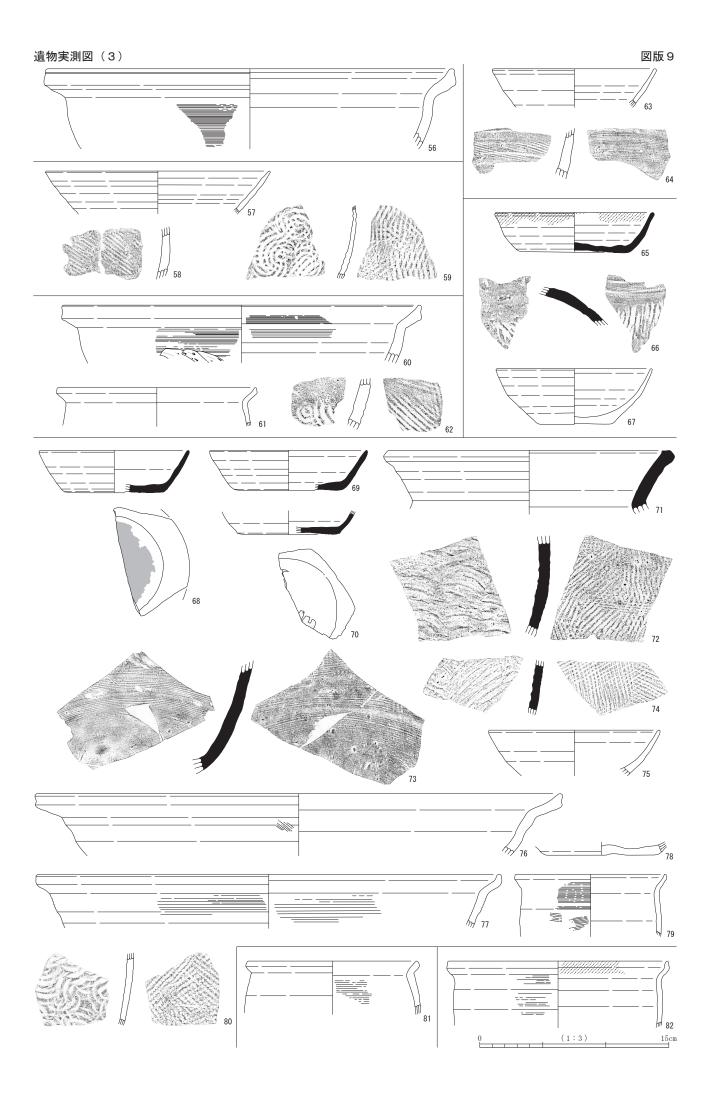
1 褐灰色粘土 IV層土をブロック状に少量含む

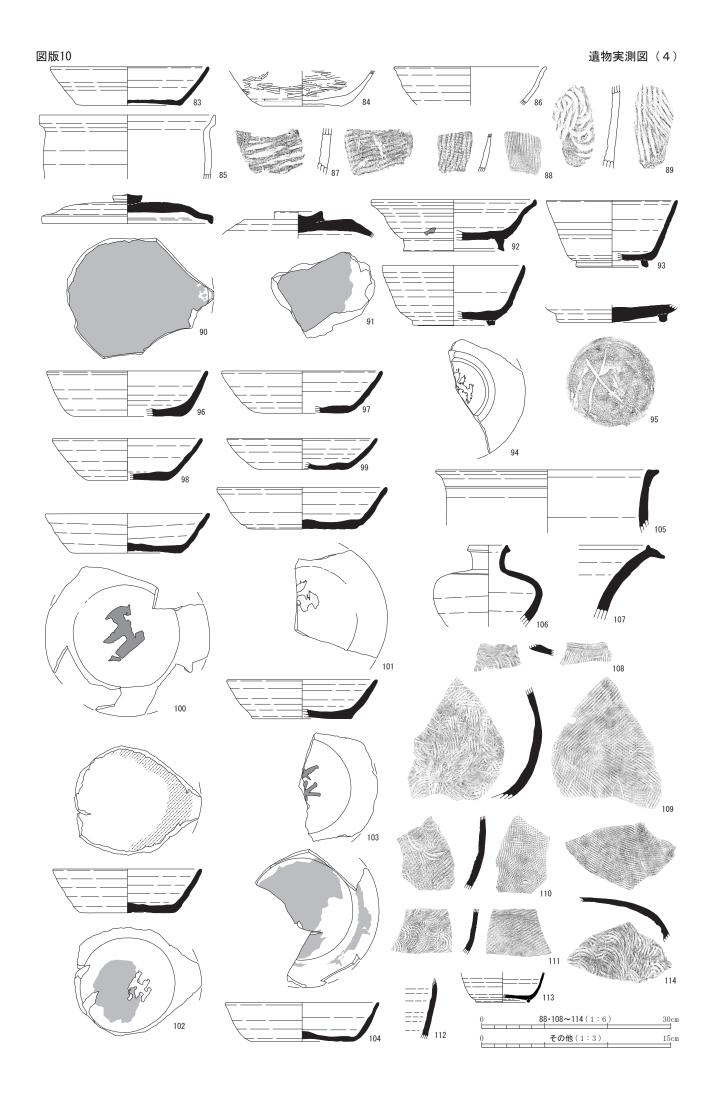
- 5 黄灰色粘土 直径  $0.5 \sim 1 \text{mm}$  の炭化物を 1%含む 6 黄灰色粘土
- 7 褐灰色粘土 直径 0.5~1mm の炭化物を1%含む
- 8 黒褐色粘土 腐植物が大半を占める 炭化物を多量含む

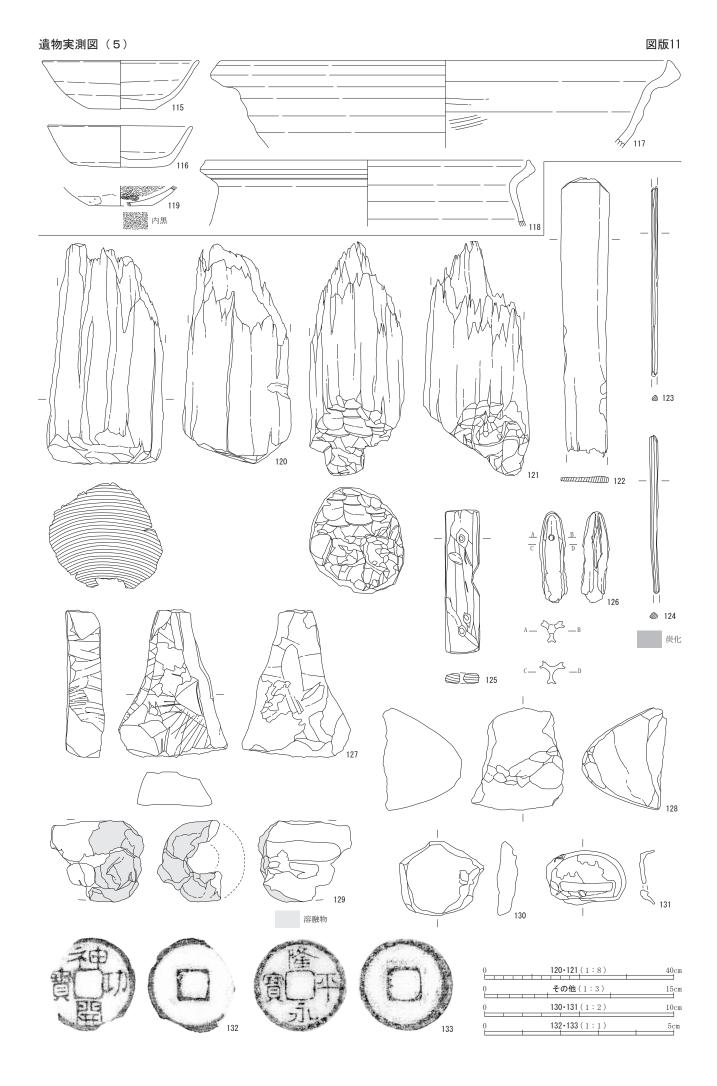








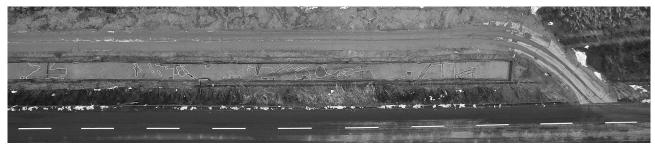




図版12 調査写真(1)



調査地全景(南東から)



空中写真(4G~11J 西から)



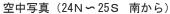
空中写真(10J~17M 西から)

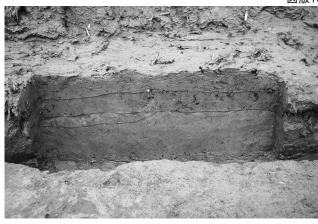


空中写真(16M~25N 西から)

調査写真(2) 図版13







基本層序(14L25)



SE01 土師器・須恵器出土状況 (西から)



SE01 セクション(西から)



SE01 古銭・土師器出土状況(南から)



SE02 木製品出土状況(南から)



SE02 完掘状況 (西から)



SE03 セクション(西から)

図版14 調査写真(3)



SK11 遺物出土状況(南から)



SK13 セクション(南から)



SK17 遺物出土状況(南から)



SK17 セクション(南から)



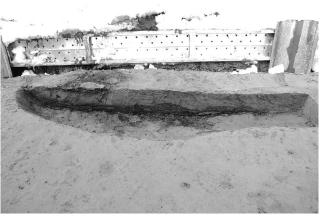
SK17 完掘状況(南から)



SD14 セクション・漆塗製品出土状況(南東から)

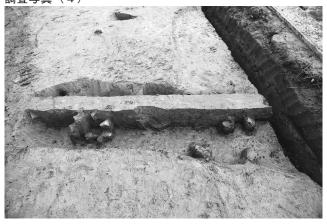


SD17 半截・遺物出土状況 (東から)



SD17・SD16 セクション(東から)

調査写真(4) 図版15



SD22 遺物出土状況 (南から)



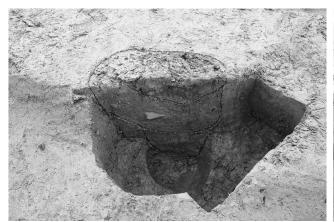
SD22 完掘出土状況 (南から)



P13 木製品出土状況(北から)



P23 セクション(南から)



P32 セクション(北東から)



SX05 遺物出土状況 (東から)

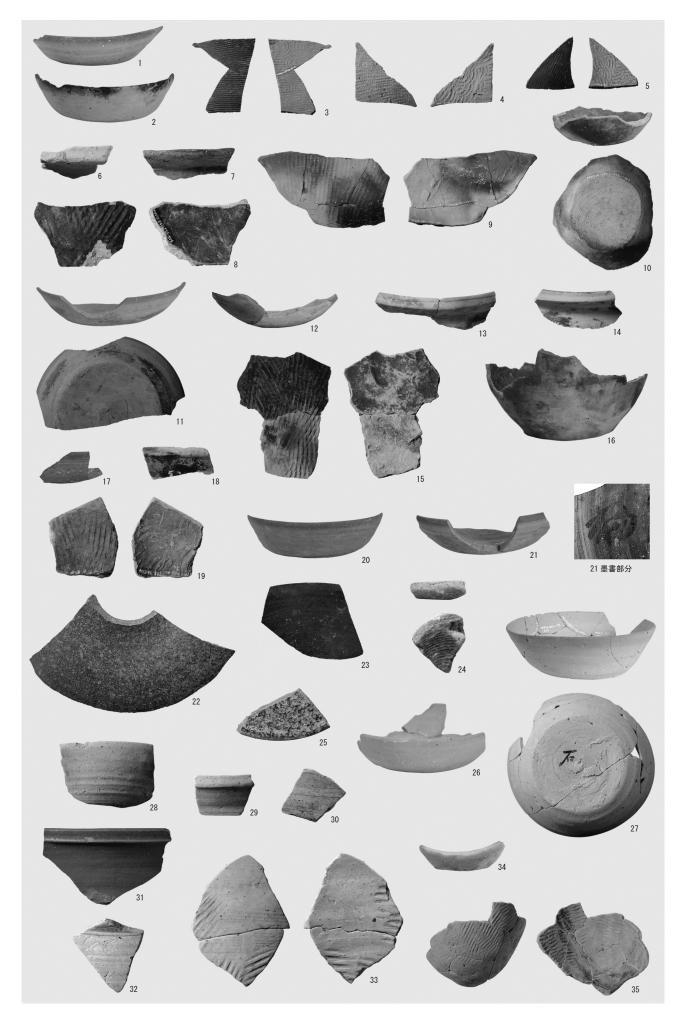


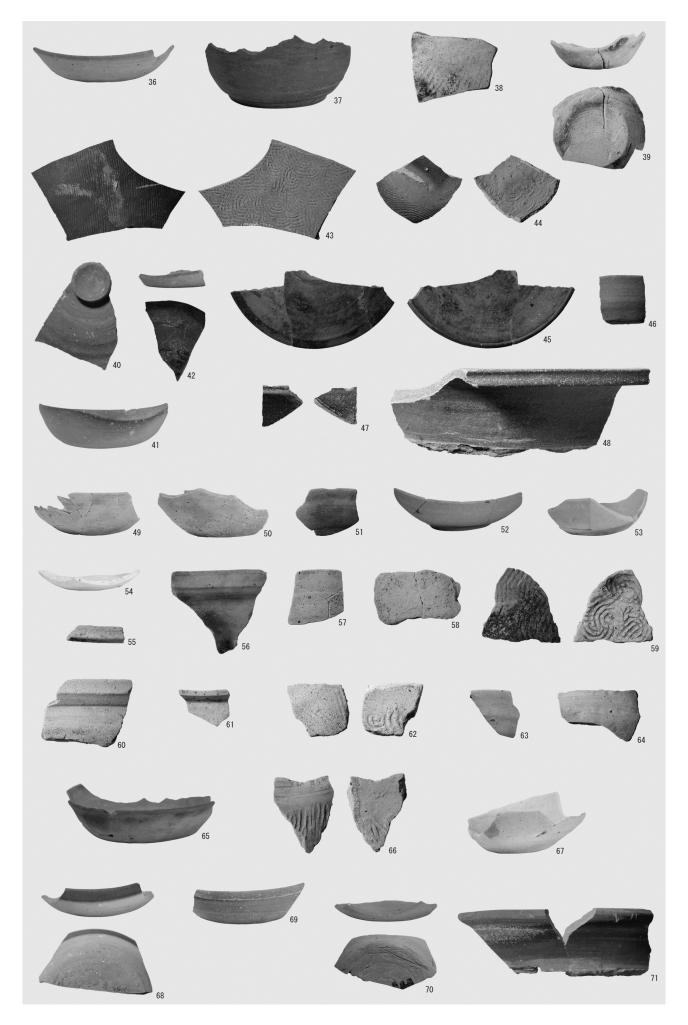
包含層発掘作業



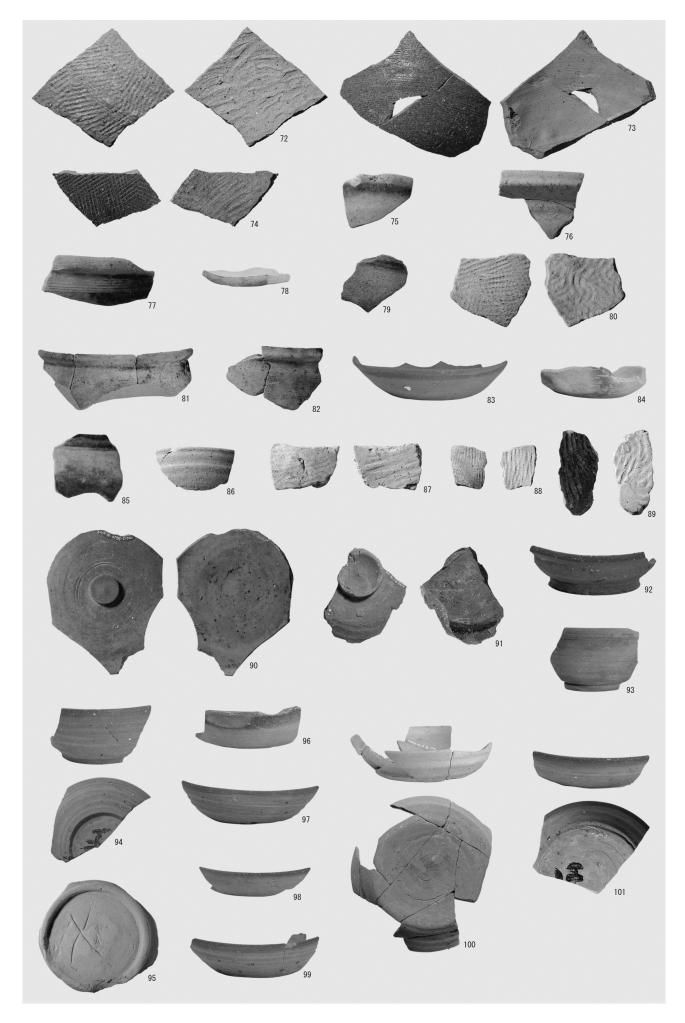
漆塗製品取上げ作業

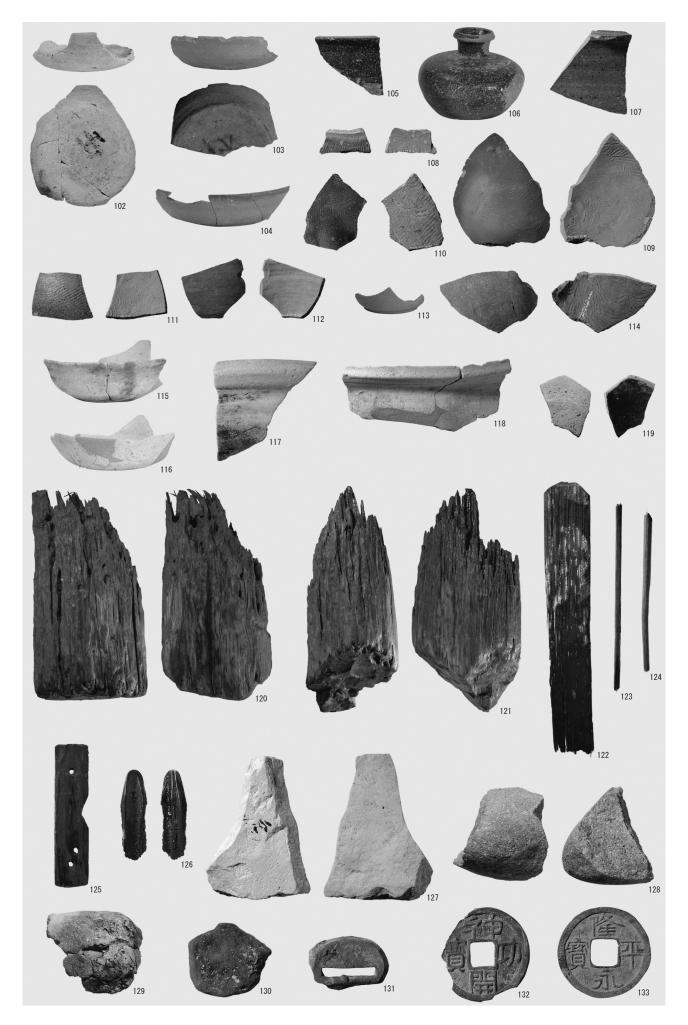
図版16 遺物写真(1)





図版18 遺物写真(3)





## 報告書抄録

ふりがな	めくらだいせき							
書名	盲田遺跡							
副書名	県営経営体育成基礎	盤整備事業	(富島地区	こ)に伴う	埋蔵文化則	発掘調査報告	·書	
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	鳥居美栄							
編集機関	長岡市教育委員会							
所在地	〒940-0084 新潟	<b>県長岡市幸</b>	町2丁目1	番1号 7	TEL0258-32	2-0546		
発行年月日	2015年3月18日							
		コー	ード					
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
めくらだいせき 盲 田遺跡	にいがたけんながおかし 新潟県長岡市 とみじままちあざめくらだ 富島町宇盲田	15201	608	37° 28′ 42″	138° 53′ 20″	20131031 ~ 20140123	928 m²	記録保存調査
所収遺跡名	種別	主な「	時期	主な	遺構	主な遺	物	特記事項
								神功開宝・隆平
				井	戸	土師智	岩	永宝、帯金具(丸
めくらだいせき 盲 田遺跡	遺物包含地	平安	時代	土	坑	須恵器	뭄	鞆)を出土(旧
				溝状	遺構	木製品	3	長岡市域では初
								の出土)

## 盲田遺跡

県営経営体育成基盤整備事業(富島地区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 平成 27 (2015) 年 3 月 18 日 印刷 平成 27 (2015) 年 3 月 18 日 発行

> 編集・発行 長岡市教育委員会 印刷・製本 株式会社文化